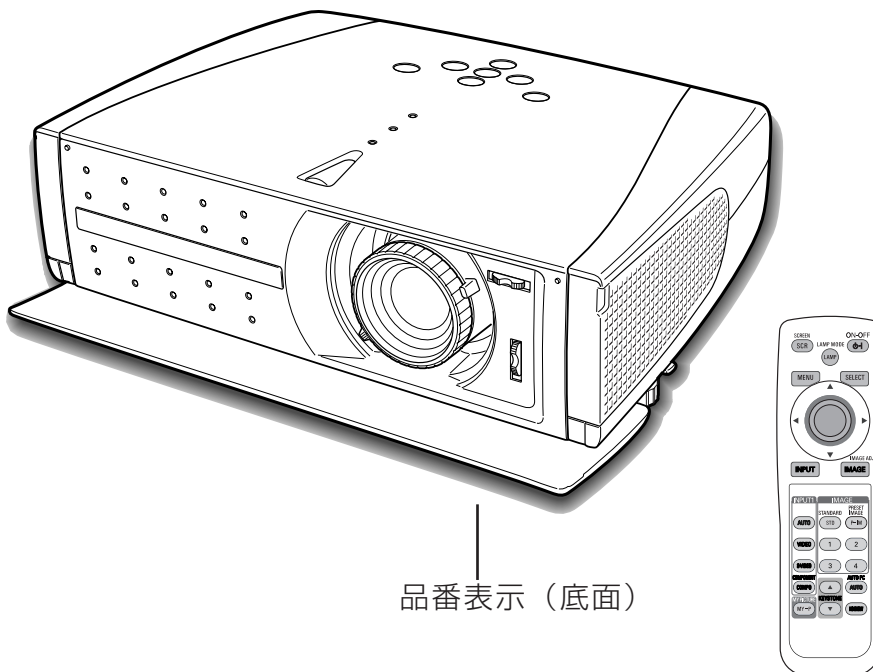


液晶プロジェクター 品番 LP-Z2 取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使い下さい。とくに4～11ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。
わからないことがあったときなどにお役に立ちます。
お買い上げ商品の品番は底面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください



品番表示（底面）

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（ ）内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

ホームユース液晶プロジェクター LP-Z2 の特徴

約276万画素ワイド液晶パネル採用で高精細大画面を実現

短焦点投映レンズ採用で、6畳間で100型の大画面を実現

インテリアにマッチするスタイリッシュ&シンプルデザイン

- 生活空間に溶け込むスタイリッシュ&シンプルデザインを採用。また、デザイン性と機能性（レンズ保護）を融合したスライドモーションドアも装備。

上下左右レンズシフト機能

- 画質を損なわずに設置位置が自由に選択可能。

さまざまな高画質回路や機能が満載

- 投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタルキーストーン (台形補正)」機能。
- 映像の明るい部分や暗い部分の像形をくっきりさせる「白黒伸張」機能。
- ビデオ映像をより高画質に投映できる「プログレッシブキャン」機能。
- 赤みや青みを帯びた映像をお好みの色調に調整できる「色温度切換」機能。
- お好みの階調に調整可能、10ビットデジタルガンマ補正機能。
- ムラの少ない大画面を実現、3次元デジタル色ムラ補正機能。

ランプの明るさを調整することができるランプモード

電力の節約を助ける、パワーマネージメントモード

キャプチャー機能で好きな画像を取り込み、マイピクチャーボタン（リモコン）でいつでも再現（静止画）。

豊富な接続端子群を装備

- コンポーネント端子はもちろん、S映像端子、D4端子を装備。

DVI-I（デジタルビジュアルインターフェイス）搭載

- デジタル ビジュアル インターフェイス（DVI-I）入力端子により、コンピュータの画像をより鮮明に再現。
- HDCP技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投映できます。

コンピュータにも接続可能・豊富な機能

- DVI-I端子の搭載により、アナログ・デジタル両方の信号が入力可能。
- コンピュータの種類の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャン システム」と「自動PC調整」機能。
- 表示されている映像を一時的に消す「NO SHOW」機能。
- VGA から S-XGA（一部圧縮対応）まで投映可能（RGB信号入力時）

海外の映像システムにも対応する 6 カラーシステム

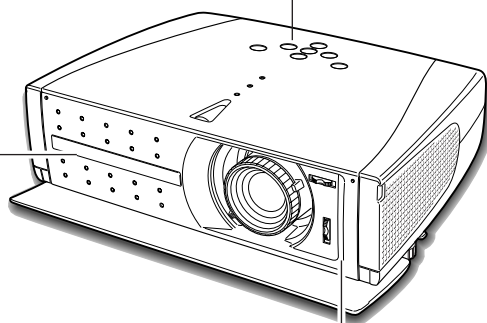
- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N カラーシステムに対応。

天吊り、据置、リア投映など、さまざまな設置方法に対応

ライトアップ機能付き多機能ワイヤレスリモコン付き

満足の明るさと高精細大画面

- 約276万画素の高精細映像でDVDはもちろん、ハイビジョン画像も存分に楽しめる。
- 135W UHPランプの採用により、高輝度化を実現。
- 31~200 型の大画面。



小型・軽量

- 小型・軽量 4.1 Kgのコンパクトボディ。
- 使用する環境温度を解析し排気ファンを最適な回転数で駆動する「ファン回転リニアコントロール技術」を採用。

充実のビデオ/コンピュータ入力端子

- ビデオ入力端子には、コンポーネント端子はもちろん、S映像端子、映像端子、D端子を装備。
- コンピュータ入力端子にはDVI 29ピン（デジタル/アナログ）を装備。



ワイヤレスリモコン

- プロジェクターの遠隔操作が可能。
- ライトアップ機能付き多機能ワイヤレスリモコン

目次

安全上のご注意 4

はじめに 12

付属品を確認してください 12

各部の名称 13

本体各部のなまえ 13
機器をつなぐ端子 14
本体操作パネルのボタン 15
リモコンのボタン 16

リモコンの準備 17

設置 18

設置のしかた 18

接続 21

ビデオ機器を接続する 21
コンピュータを接続する 22
電源コードを接続する 23

基本操作 24

電源を入れる 24
電源を切る 25
投映画面を調整する 26
キャプチャー画面を表示させる 28
画面を一時的に消す 28
ランプモードを切り換える 28

メニューの操作 29

オンスクリーンメニューの操作方法 29
メニュー一覧 30

ビデオ入力 31

ビデオ入力に切り換える 31
カラーシステムや走査方式を選択する 32
イメージの調整 33
画面の表示モードを選択する 36

コンピュータ入力 38

コンピュータ入力に切り換える 38
コンピュータシステムの選択 39
コンピュータシステムの調整 40
イメージの調整 43
適切なサイズに調整する 46

各種セッティング 47

保守とお手入れ 52

光源ランプの交換 52
お手入れについて 53
内部の温度上昇について 55
インジケータ表示とプロジェクターの状態 56
故障かなと思ったら 57

付録 58

コンピュータシステムモード一覧 58
メニュー内容一覧 59
仕様 61
別売品 62
寸法図 63
端子の仕様 64

お客さまご相談窓口 66

保証とアフターサービス 裏表紙

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例



感電注意

△ の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。

△ の中に具体的な注意内容が描かれています。

（左の絵表示は感電注意を意味します。）



分解禁止

⊘ の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。

⊘ の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。

（左の絵表示は分解禁止を意味します。）



電源プラグを
コンセントから抜け

● の記号は、しなければならない行為を示しています。

● の中に具体的な指示内容が描かれています。

（左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。）

警告

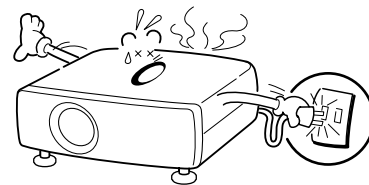
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



- 使用中はレンズをのぞかないでください。強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。



警告



- 万一本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



- 万一異物が本機の内部に入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

- 画面が映らないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を販売店にご依頼ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

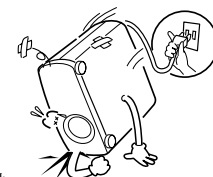
- 万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



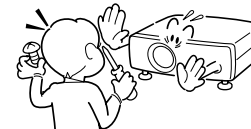
- 本機のキャビネットははささないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



感電注意



- 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止



水ぬれ禁止



警告

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室での使用禁止

- 本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



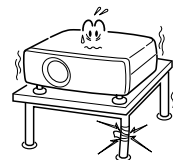
水ぬれ禁止



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



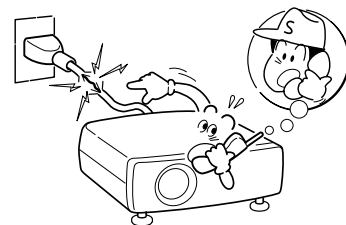
禁止



- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



禁止

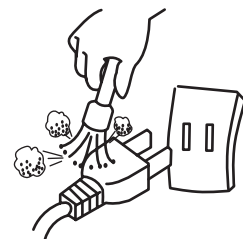


- 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。

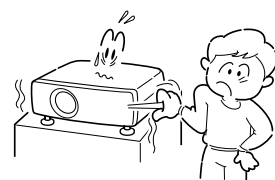
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くに特にご注意ください）



- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



禁止





警告

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



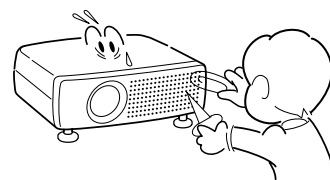
接触禁止



- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。とくにお子様にご注意ください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。火災・けがの原因となります。



禁止



- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 本機は接地端子の付いた 3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を設置してください。(詳しくは、23ページをご覧ください。)



アース線を接続せよ

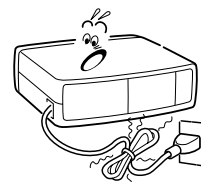


注意

- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



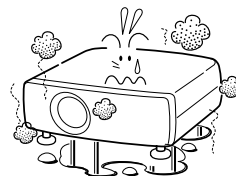
禁止



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



注意

- 内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。ご使用の時は、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

設置のときは、ファンの排気口を壁から50cm以上あけてください。

空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。

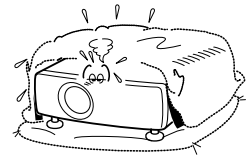
次のような使い方はしないでください。

- * 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
- * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
- * じゅうたんや布団の上に置く。
- * テーブルクロスなどを掛ける。

また、壁など、周囲のものから50cm以上はなし、風通しをよくしてください。



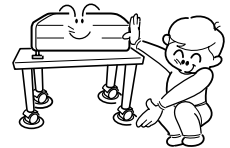
禁止



- キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



注意



- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



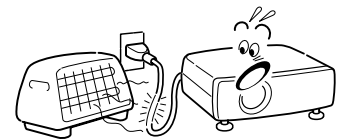
禁止



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



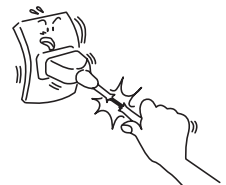
禁止



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止



- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



⚠ 注意

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどのはずしたことを確認の上、行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



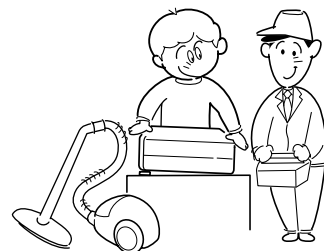
電源プラグを
コンセントから抜け



- 長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。



注 意



正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。持ち運ぶときは、レンズの保護のためにスライドモーションドアを閉めて、持ち運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、ご注意ください。

設置するときは次のことに注意してください

● 吸・排気口にご注意ください ●

底面に吸気口があるため、設置するときは柔らかい布やマット等の上に設置しないようご注意ください。

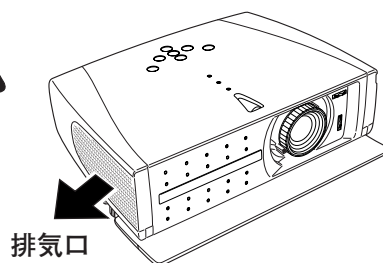
排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- ・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・観葉植物やペットを置かないでください。
- ・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・排気口付近には視聴席を設けないでください。

調整脚を出したときにテーブル面に温風が当たりますので、変形や変色のおそれのあるものの上に置いての投映はしないでください。



注 意



熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。手で触れたりしないでください。特にお子さまにはご注意ください。

● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

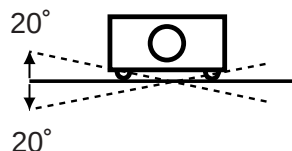
使用温度範囲	5℃～35℃	保管温度範囲	-10℃～60℃
--------	--------	--------	----------

● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

正しい方向に設置してください

プロジェクターは正しい方向に設置ください。誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となります。



傾きは 20° 以内に

左右への傾きは各 20°
以内としてください。



横置き禁止

横に立てて設置して投映しないでください。



下向き禁止

下向きに設置して投映しないでください。

⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（LAMP REPLACE インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入るおそれがあります。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店または当社サービスステーションへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

はじめに

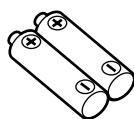
付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

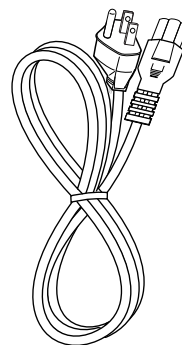
1 リモコン



2 リモコン用アルカリ乾電池
(単三型2本)



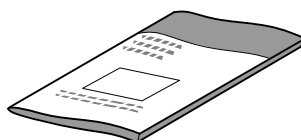
3 電源コード



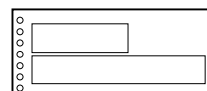
4 ビデオケーブル



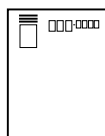
5 取扱説明書



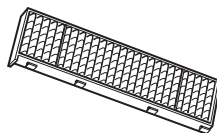
6 保証書



7 ユーザー
登録カード (はがき)

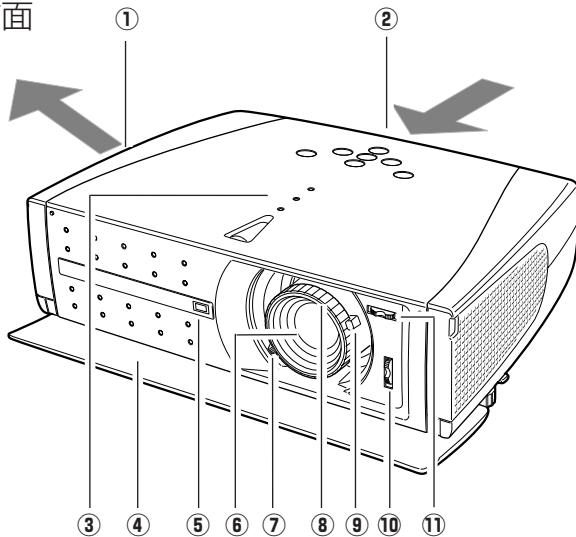


8 交換用エアフィルター (1個)



本体各部のなまえ

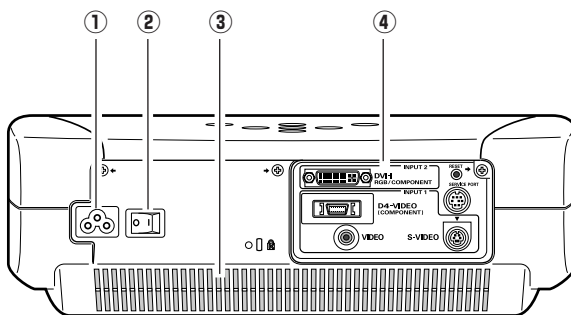
前面



⚠ ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

- ① 排気口 ★ 1
- ② 吸気口 ★ 2
- ③ 操作パネル・インジケータ
- ④ スライドモーションドア ★ 3
- ⑤ リモコン受信部
- ⑥ レンズ
- ⑦ ズームレバー
- ⑧ フォーカスリング
- ⑨ 絞り（レバー）
- ⑩ レンズシフト（上下）
- ⑪ レンズシフト（左右）

後面



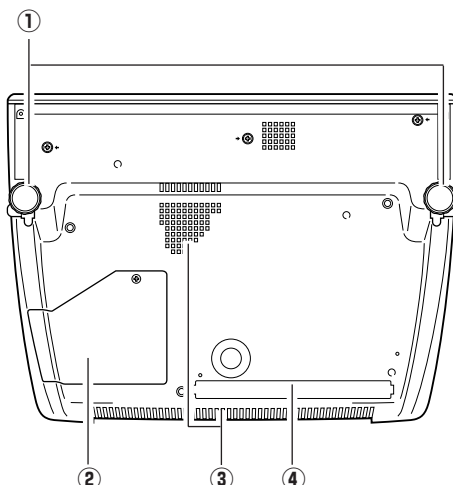
- ① 電源コード接続ソケット
- ② 主電源スイッチ
- ③ 吸気口 ★ 2
- ④ 後面端子

★ 1



スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすい物を近くに置かないでください。火災や火事の原因となります。

底面



- ① 調整脚
- ② ランプカバー
- ③ 吸気口（後面と底面） ★ 2
- ④ エアフィルター

★ 2



内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

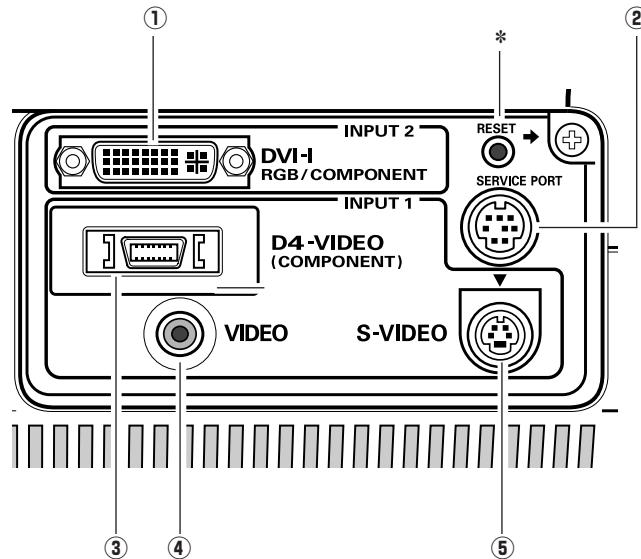
★ 3



本機をお使いにならないときはホコリやキズからレンズを守るためドアを閉めてください。ドアを閉めると約 5 秒後に電源が切れますが、プロジェクターを保護するためです。ドアの開閉で電源を切らないでください。

機器をつなぐ端子

後面端子

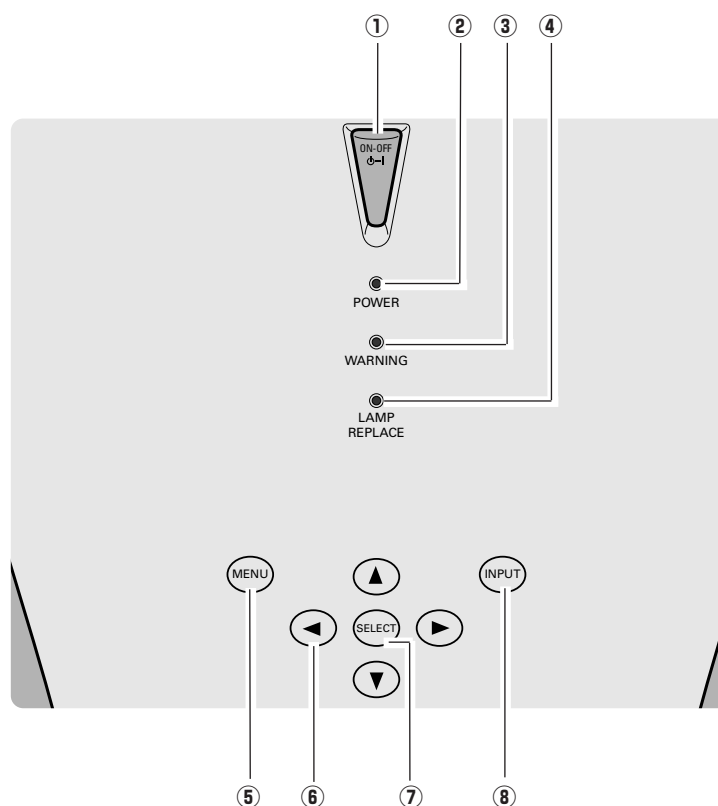


- ① **INPUT 2 DVI-I RGB/COMPONENT 入力端子** (21、22ページ参照)
DVI規格対応の端子を持つコンピュータからの信号（デジタル / アナログ）を接続する DVI-I端子です。接続には、DVI-I用コンピュータ接続ケーブル★を使用します。D-sub出力端子（アナログ）のコンピュータへの接続には、DVI/D-sub★用コンピュータ接続ケーブルを使って接続します。また、ビデオ機器などのコンポーネント入力も接続することができます。接続には、コンポーネント / D-sub用接続ケーブル★を使用します。（★は、別売品です）
- ② **サービス用端子**
サービスマン用の端子です。
- ③ **INPUT 1 D4-Video (COMPONENT) 入力端子** (21ページ参照)
DVDプレーヤーやゲーム機など、D端子出力のある機器からの信号を入力します。またビデオ機器からのコンポーネント信号も入力することができます。
- ④ **ビデオ入力端子** (21ページ参照)
ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。
- ⑤ **S映像入力端子** (21ページ参照)
ビデオ機器からの S映像出力をこの端子に接続します。

* リセットボタン

本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行なってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

本体操作パネルのボタン



- ① **ON-OFF ボタン** (24、25 ページ参照)
電源を入り・切ります。

- ② **POWER インジケータ** (24、25、56 ページ参照)
プロジェクターの状態を示します。
点灯 (赤) : 電源を入れる準備ができました。
点滅 (赤) : 電源を入れる準備ができるまで、またはランプの冷却中です。
点灯 (緑) : プロジェクターは動作中です。
点滅 (緑) : パワーマネジメントモードがはたらいています。

- ③ **WARNING インジケータ** (55、56 ページ参照)
赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。また、プロジェクターの内部の異常を検知したとき赤く点灯します。

- ④ **LAMP REPLACE インジケータ**
(52、56 ページ参照)
光源ランプの交換時期を知らせます。

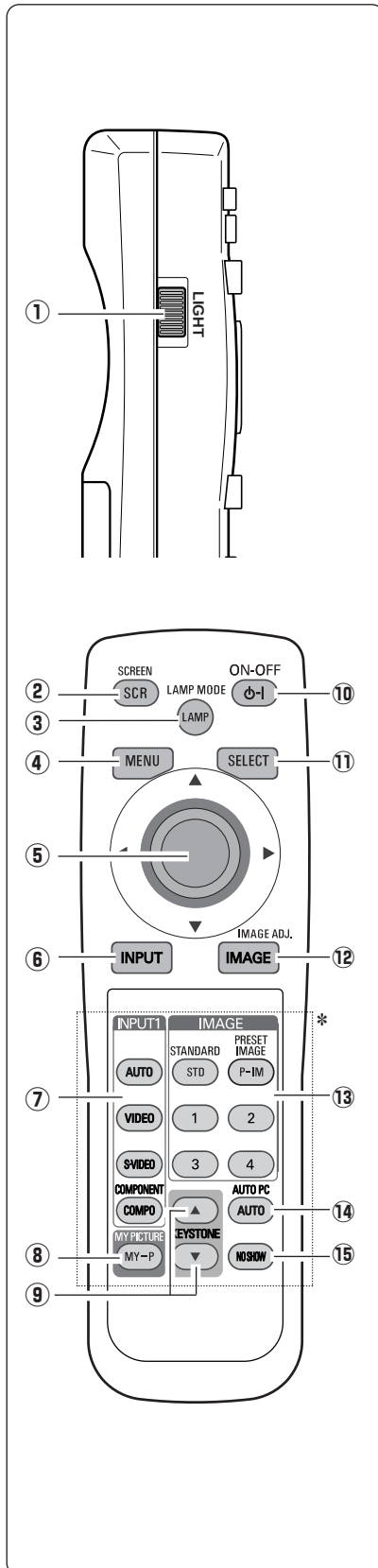
- ⑤ **MENU ボタン** (29 ページ参照)
メニューバーを出します。

- ⑥ **ポイント ボタン** (29 ページ参照)
オンスクリーンメニューのポインタの移動や、メニューの調整に使用します。

- ⑦ **SELECT ボタン** (29 ページ参照)
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

- ⑧ **INPUT ボタン** (31、38 ページ参照)
インプット (入力) を切り換えます。

リモコンのボタン



- ① **ライト**
LIGHT ボタン
1 回押すと、SCR (SCREEN)/ON-OFF/LAMP (LAMP MODE)/MENU/SELECT/INPUT/IMAGE ボタンが約 10 秒間点灯します。
- ② **スクリーン**
SCR (SCREEN) ボタン (36、46 ページ参照)
スクリーンサイズを選択します。
- ③ **ランプ**
LAMP (LAMP MODE) ボタン (28 ページ参照)
ランプモードを選択します。
- ④ **メニュー**
MENU ボタン (29 ページ参照)
メニューバーを出します。
- ⑤ **ポイント**
POINT ボタン (29 ページ参照)
オンスクリーンメニューのポインタの移動やメニューの調整に使用します。
- ⑥ **インプット**
INPUT ボタン
入力モード (インプット1・2) を選択します。
- ⑦ **インプット**
INPUT 1 ボタン
インプット1の入力信号を選択します。
- ⑧ **マイピクチャー**
MY-P (MY PICTURE) ボタン (28 ページ参照)
「キャプチャー機能」で取り込んだ画像を表示します。
- ⑨ **キーストーン**
KEYSTONE ボタン (27 ページ参照)
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。
- ⑩ **オン オフ**
ON-OFF ボタン (24、25 ページ参照)
電源を入り・切りします。
- ⑪ **セレクト**
SELECT ボタン (29 ページ参照)
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。
- ⑫ **イメージ**
IMAGE (IMAGE ADJ.) ボタン (34、44 ページ参照)
イメージメニューを呼び出し、調整をします。
- ⑬ **イメージ**
IMAGE ボタン (33、43 ページ参照)
イメージモードを選択します。
- ⑭ **オート (オートビジー)**
AUTO (AUTO PC) ボタン (40 ページ参照)
トラッキング・総ドット数・水平位置・垂直位置を自動調整します。
- ⑮ **ノーショー**
NO SHOW ボタン (28 ページ参照)
画面を一時的に消します。

* 蓄光ボタン

この枠内のボタンは蓄光ボタンを採用しています。明るい光の下にしばらく置いておくと光を吸収し、リモコンを暗いところへ持ち込んだとき、ボタンが発光します。

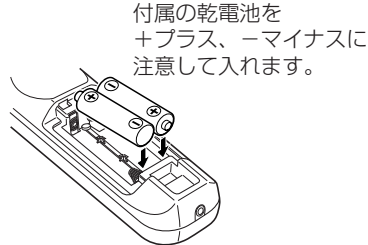
リモコンの準備

電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。



2 電池を入れます。



使用乾電池
単3型アルカリ乾電池2本

3 電池カバーを閉めます。



電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんで注意ください。

- ・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- ・乾電池は充電しない。分解しない。
- ・＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
- ・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- ・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- ・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。



注 意



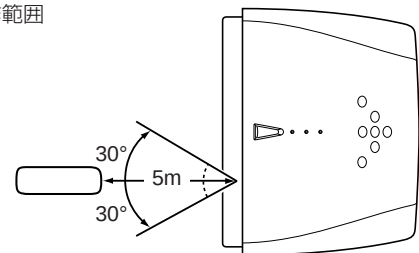
禁 止

リモコンで操作できる範囲

リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面のリモコン受信部から約5m以内、上下左右30° 以内です。

※ 間に障害物があると操作の妨げになります。

上下左右各30° 以内の
操作範囲



リモコンを使用するときのご注意

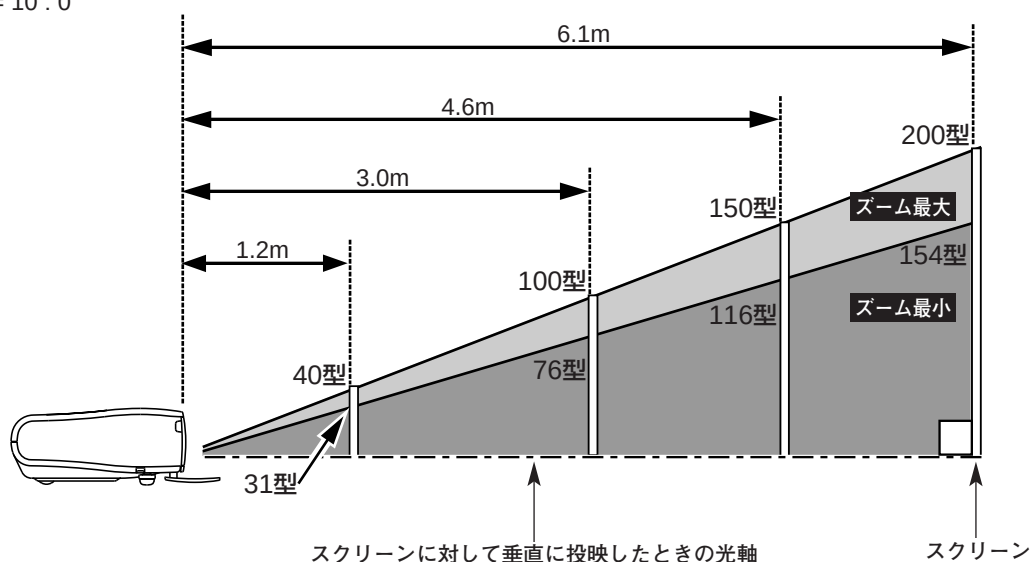
- ・本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。
- ・液状のものをかけない。
- ・落としたり衝撃を与えない。
- ・熱や湿気をさける。

設置のしかた

スクリーンからのおよその距離と画面サイズの関係

画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。スクリーンからレンズまでの距離が約1.2m～6.1mの範囲に設置してください。

A : B = 10 : 0



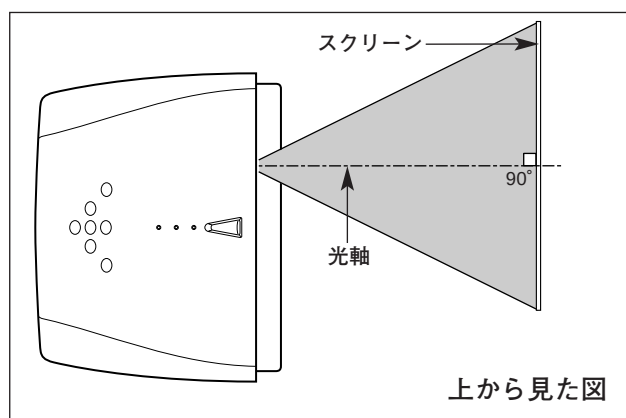
画面サイズ (幅 x 高さ : mm)	31 型	40 型	100 型	150 型	200 型
	686 x 386	686 x 386	2209 x 1244	3314 x 1866	4419 x 2489
投射距離 (ズーム最小)	1.2 m	1.6 m	4.0 m	5.9 m	—
投射距離 (ズーム最大)	—	1.2 m	3.0 m	4.6 m	6.1 m

※ 上表はアスペクト比16 : 9 の画面で投射した画面サイズの目安です。投射画像の内容により画面サイズは異なります。
(36、46 ページ参照)

上図はレンズシフトで画面を上方向に投射したものです。

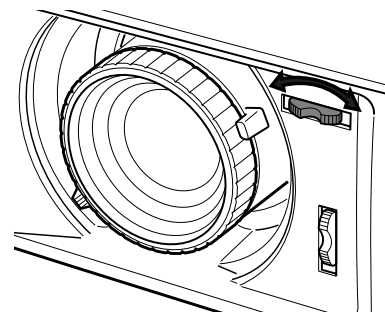
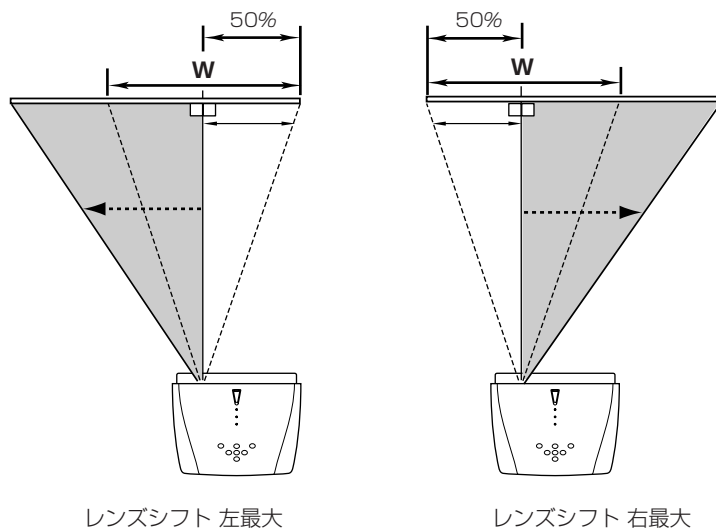
スクリーンに対して直角に設置する

投射したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。



レンズシフトで投映画面の水平位置を合わせる

レンズシフト（水平位置調整）で画面の水平位置を合わせます。
レンズ中央部から、左右にそれぞれ画面の約50%の範囲で移動できます。

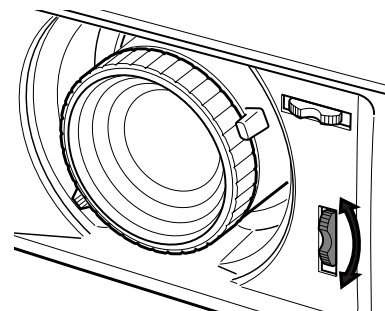
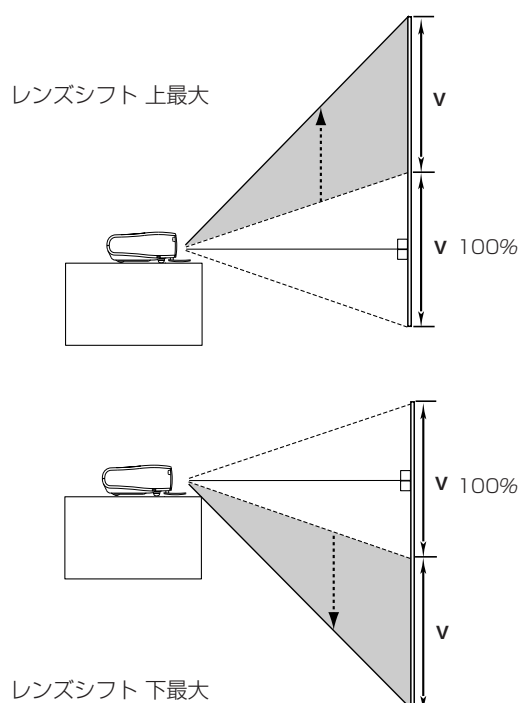


メモ

一般的にレンズシフト中央部で最良の画質が再現されます。

レンズシフトで投映画面の垂直位置を合わせる

レンズシフト（垂直位置調整）で画面の垂直位置を合わせます。
レンズ中央部から、上下にそれぞれ画面の1画面（100%）の範囲で移動できます。



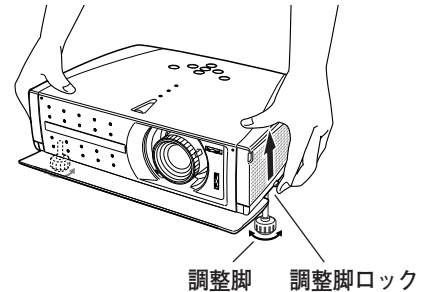
メモ

一般的にレンズシフト中央部で最良の画質が再現されます。

※ 右または左へ最大にレンズシフトしたとき、上下へは最大までレンズシフトすることはできません。また、上または下へ最大にレンズシフトしたとき、左右へは最大までレンズシフトすることはできません。

投映画面の高さと傾きを調整する

- 1 本体前方を持ち上げてから両側の調整脚ロックを人差し指で引き上げて調整脚を伸ばし、人差し指を離して調整脚をロックします。
- 2 本体前方の2つの調整脚をまわして投映画面の高さと傾きを微調整します。最大約11.8°まで上がります。



左右方向の傾きは ±20° 以内に

左右の傾きが ±20° 以内になるように投映してください。傾きが大きいと、光源ランプの故障の原因となります。



注 意

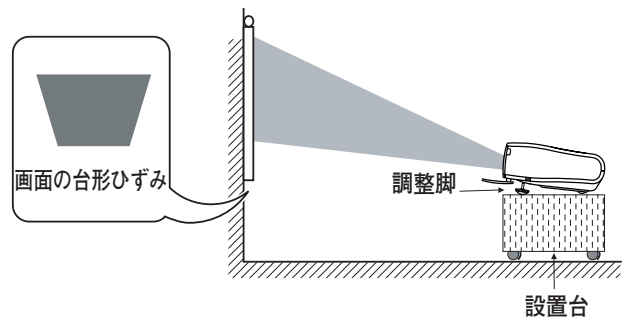
画面位置調整のヒント

画面の上下位置調整は、はじめにレンズシフトで行ない、そのあと調整脚で高さの調整を行なってください。調整脚のみで調整を行なうと画面に台形のひずみが生じます。

画面の台形ひずみ（あおり）

調整脚を上げすぎると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。（27ページ参照）



※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

メモ

お使いになる部屋の明るさについて

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

ご注意・著作権について

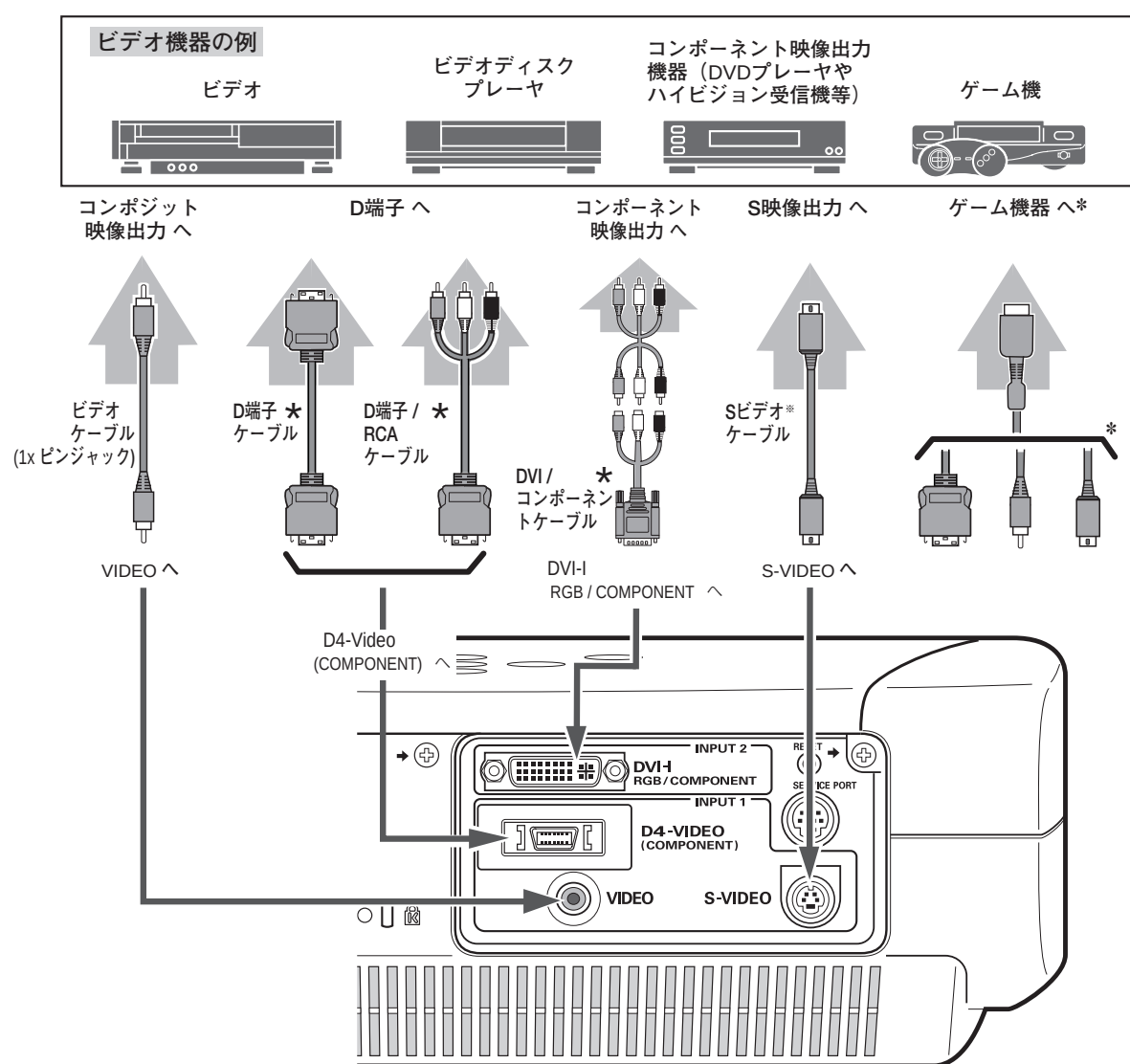
この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切換機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行ないますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

ビデオ機器を接続する（例）

接続に使用するケーブル

- ビデオ ケーブル
（1x ピンジャック、RCA/DVI ケーブル ★、D端子/D端子ケーブル ★、D端子/RCA ケーブル ★）
- Sビデオ ケーブル（ミニDIN 4ピン※）

★ は別売品です。別売品については62ページを参照ください。※は市販のものをお使いください。



※ 複数のビデオ機器を接続しているときは、インプットメニュー内の信号選択メニューで「Auto」に設定しているときは、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入（信号の有無ではない）を検知して 1) D4-Video, 2) S-Video, 3) Video の順で入力端子を自動選択します。

希望する入力端子が選択されないときは、インプットメニュー内の信号選択メニューでポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択してください。（31ページ参照）

※ ゲーム機を接続するには…

ゲーム機を接続するには、専用ケーブルなどが必要です。

詳しくはゲーム機の発売元にお問い合わせください。



接続するときの注意:

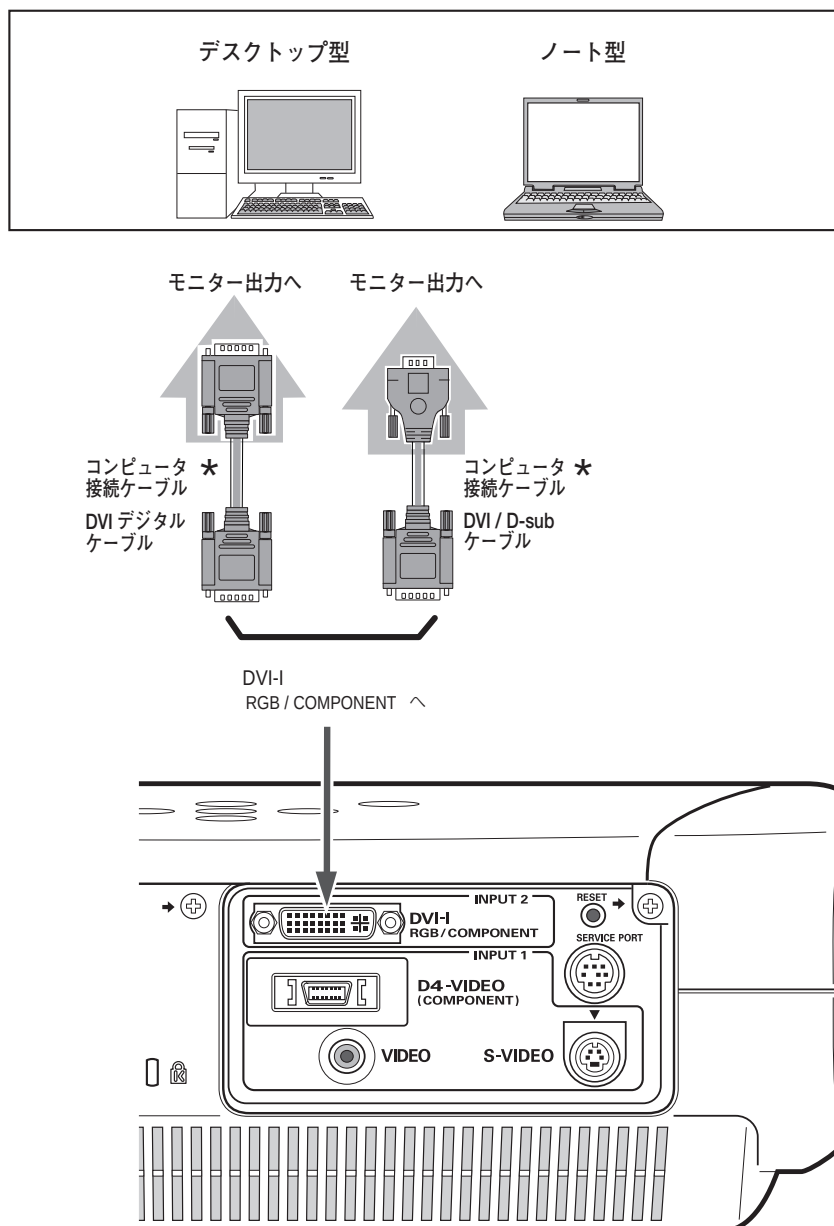
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

コンピュータを接続する（例）

接続に使用するケーブル ※ 本機にはコンピュータ機器と接続するケーブルは付属されていません。別売品のケーブルをお使いください。

- コンピュータ接続ケーブル： DVI デジタル ケーブル ＊、DVI / D-sub ケーブル ＊

＊ は別売品です。別売品については62ページを参照ください。



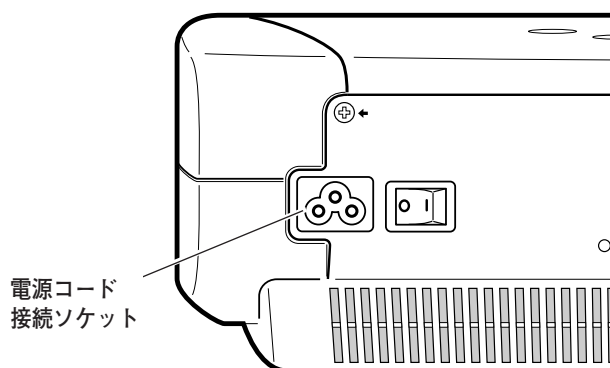
接続するときの注意:

接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。はじめにプロジェクターと周辺機器の電源を入れてからコンピュータの電源を立ち上げてください。

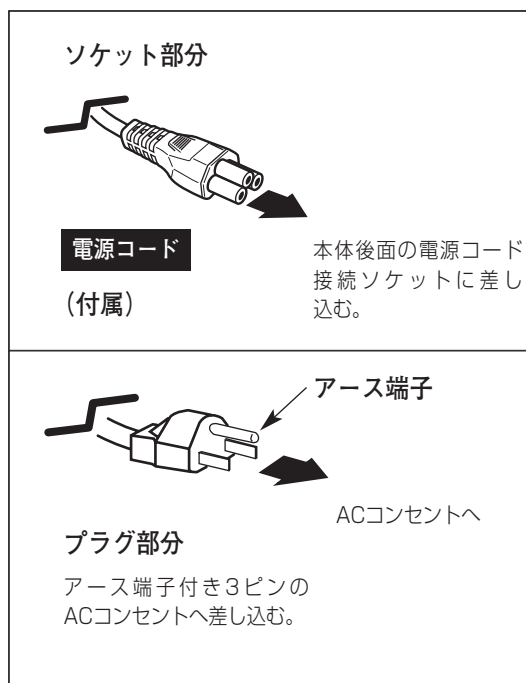
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、21、22 ページを参照してビデオやコンピュータ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を本体後面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3ピンの ACコンセントに差し込みます。



⚡ アース端子を接地してください ⚡

機器を安全にご使用いただくために、電源プラグのアース端子の接地を行なってください。また、アース端子の接地はコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因となることがあります。

⚡ ご使用にならないときは電源コードを抜いてください ⚡

本機は、操作パネルやリモコンの ON-OFF ボタンで電源を切っても、約4.5Wの電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。



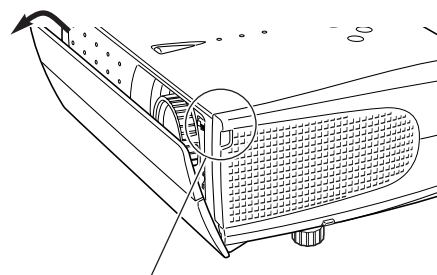
注 意

基本操作

電源を入れる

電源コードをつなぐ前に 21、22 ページを参照してビデオ機器、コンピュータを接続してください。

- 1 電源コードをACコンセントに接続します。(23 ページ参照)
本機の後面にある主電源スイッチを入れます。
スライドモーションドアを開けます。
POWER インジケータが赤く点滅し、その後赤い点灯にかわります。
※ スライドモーションドアが閉まっているときは POWER インジケータは赤い点滅を続けます。

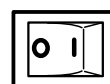


※ ここを持って、ドアを開けてください。

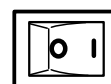
主電源スイッチ

- 2 リモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押して電源を入れます。
POWER インジケータが赤から緑の点灯にかわります。
約30秒間のオープニング画面が終わると画像が映せます。
スタート時以下のランプモードと入力モードが約4秒間表示されます。
※ このときスライドモーションドアが閉まっていると電源は入りません。

※ セッティングメニューで「オンスクリーン表示 オフ」に設定しているときはオープニング画面は出ません。

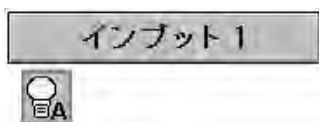


電源オフ



電源オン

※ 主電源スイッチは本機後面にあります。



入力モードと
ランプモードの表示

※ ランプモード表示 (動作の詳細は 49 ページ参照)



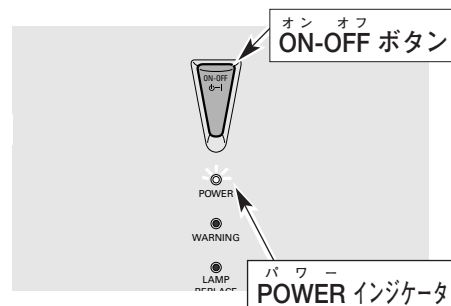
明るい表示・・・ブライต์モード



明るい表示に「A」・・・リアクティブイメージモード



上部がグレーの表示・・・シアターブラックモード



オン オフ
ON-OFF ボタン

POWER
インジケータ

電源を切った後、約90秒間は電源が入りません

電源を切った後、約90秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間は ON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。またこの間は主電源スイッチを切ったり、電源コードを抜かないでください。90秒経ち、POWER インジケータが赤く点灯すれば電源を入れることができます。

スライドモーションドアが閉まると電源が切れます

スライドモーションドアを閉じると約 5 秒後に安全のため自動的に電源が切れますが、ご使用後に電源を切る時は必ずリモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押してください。
スライドモーションドアはプロジェクターの冷却が終わってから閉じてください。
(POWER インジケータが赤く点灯すれば冷却完了です。)

ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

操作パネルやリモコンの ON-OFF ボタンで電源を切っても、約4.5Wの電力が消費されています。安全と節電のため、ご使用にならないときは後面の主電源スイッチを OFF (切) にしてください。また、長期間ご使用にならないときは電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。

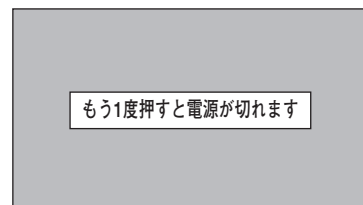


注 意

電源を切る

- 1 リモコンまたは操作パネルの ON-OFF ボタンを押すと、画面に「もう1度押すと電源が切れます」の表示が出ます。★
- 2 表示が出ている間に再度 ON-OFF ボタンを押すと画面が消え、電源が切れます。
電源が切れると POWER インジケータが緑の点灯から赤の点滅にかわり、ランプの冷却を始めます。

★ セッティングで「電源オフ確認」機能を「オフ」に設定しているときは表示が出ません。



※ 表示は約4秒間出ます。

💡 電源を切った後、約90秒間は電源が入りません 💡

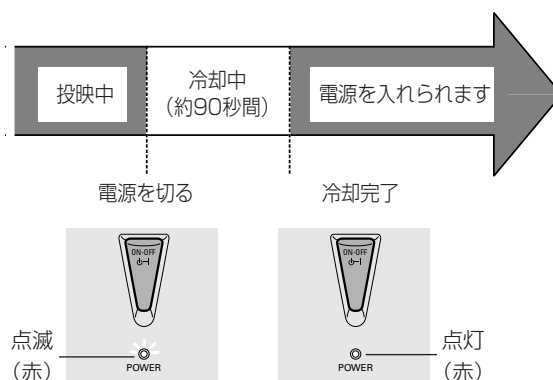
電源を切った後、約90秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間は ON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。またこの間は主電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。約90秒経ち、POWER インジケータが赤く点灯すれば電源を入れることができます。

💡 光源ランプを長持ちさせるために 💡

光源のランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源プラグを抜くときは、ON-OFF ボタンで電源を切り、約90秒経過後、POWER インジケータが赤く点灯してから行なってください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

💡 冷却ファンについて 💡

電源が入っている間、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わることがありますが、故障ではありません。



プロジェクターを24時間以上連続して使用しないでください。連続して使用する場合24時間に一度電源を切り、1時間休ませてください。続けて使用すると、ランプの寿命を縮める原因となります。

パワーマネジメント機能とそのはたらき

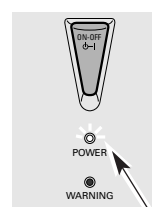
本機にはパワーマネジメント機能が搭載されています。5分30秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、パワーマネジメント機能が働き、電力の節約とランプの寿命を助けるはたらきをします。工場出荷時は、パワーマネジメント機能は「オン」に設定されています。(49 ページ参照)

動作について

- 1) プロジェクターからの入力信号が中断し、30秒以上プロジェクターが操作されないと、画面に「入力信号なし」とタイマーの表示が現われ、タイマーが5分からカウントダウンを始めます。
- 2) 5分経過するとランプが消灯し、ファンが回転してランプの冷却を行ないます。ランプ冷却中は POWER インジケータが赤く点滅し、プロジェクターの操作は出来ません。
- 3) ランプの冷却が完了すると POWER インジケータが緑の点滅を始め、パワーマネジメントモードになっていることを知らせます。この状態の時に、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投影されます。



↑
ランプ消灯までの時間

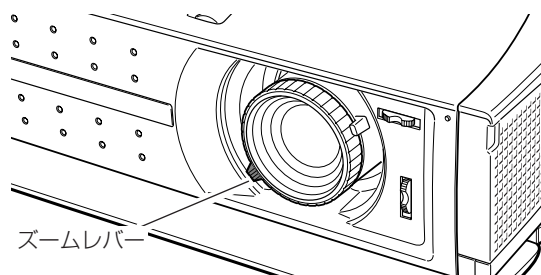


パワーマネジメントモードになると、POWER インジケータが緑の点滅を始めます。

投映画面を調整する

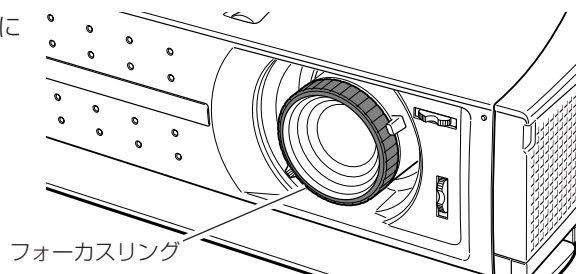
画面の大きさを決める (ZOOM)

ズームレバーを回して、画面の大きさを調整をします。



フォーカスを合わせる

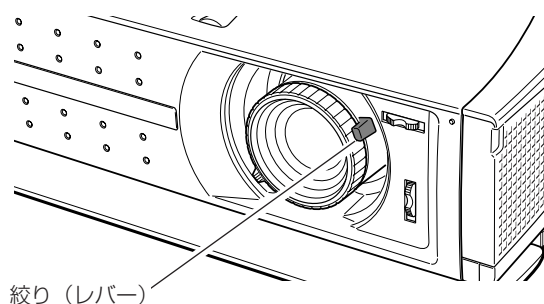
フォーカスリングを回して、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。



絞りを合わせる

絞り（レバー）を回して、絞りの調整をします。

🔧 暗い映像が多い映画を楽しまれるときにおすすめします 🔧
絞りを調整すると、調整しないときより映像が暗くなりますが、黒が沈んでコントラスト感のある映像を楽しむことができます。



キーストーン調整で画面の台形ひずみを補正する(KEYSTONE)

リモコンで操作するとき

リモコンの KEYSTONE ボタンの上下方向で、画面の台形ひずみを補正します。

KEYSTONE ボタン 上方向・・・画面上部の幅が縮みます。

KEYSTONE ボタン 下方向・・・画面下部の幅が縮みます。

※ 操作パネルに KEYSTONE ボタンはありません。

キーストーン



※ 表示は約4秒間出ます。

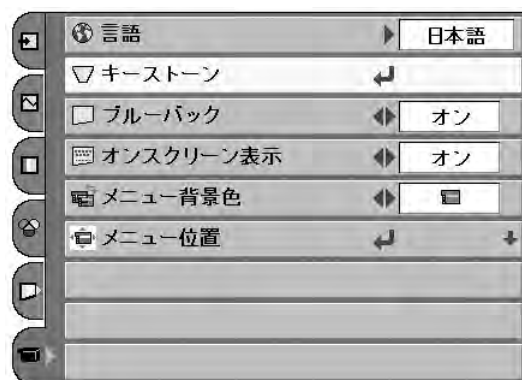
※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

※ 補正された方向の矢印は紫色で表示されます。(無補正の場合の表示は白色です。)

※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

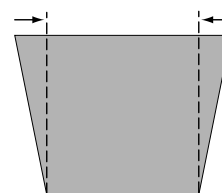
オンスクリーンメニューで操作するとき

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタン上下で一番下のセッティングメニューを選択します。ポイントボタン右でサブメニューに入ります。
- 2 ポイントボタン下でキーストーンの項目を選択しSELECT ボタンを押すと、キーストーン調整モードに入ります。画面に「キーストーン」表示が現われます。
- 3 表示が出ている間にポイントボタンの上下で、画面の台形ひずみを補正します。
ポイント ボタン 上・・・画面上部の幅が縮みます。
ポイント ボタン 下・・・画面下部の幅が縮みます。

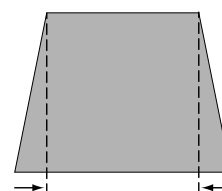


- ※ キーストーン調整で補正した内容は、電源コードを抜いても記憶されます。
- ※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。したが、画面の補正はレンズシフトで先に調整し、レンズシフトで調整しても補正できないときにキーストーン機能で補正することをおすすめします。
- ※ レンズシフトを最大の位置に設定すると、台形ひずみが残る場合があります。
- ※ 画面の表示モードで「ノーマルスルー」または「ピッタリワイド」を選択しているときは、キーストーン調整はできません。

ポイントボタン上



ポイントボタン下

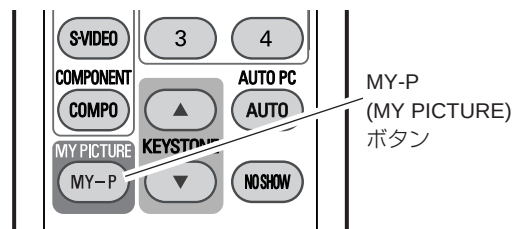


キャプチャー画面を表示させる (MY PICTURE)

リモコンの MY-P (MY PICTURE) ボタンを押すと、キャプチャーした画像を表示することができます。もう一度 MY-P (MYPICTURE) ボタンを押すと、解除されます。

※ MY PICTURE ボタンは操作パネルにはありません。

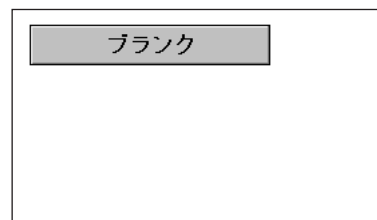
※ MY PICTURE 表示中に他のボタンを押しても解除されません。



画面を一時的に消す (NO SHOW)

リモコンの NO SHOW ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投映画面を一時的に消すことができます。もう一度 NO SHOW ボタンを押すと、解除されます。

※ NO SHOW ボタンは操作パネルにはありません。



※ 表示は約4秒間出ます。

💡 こんなときに便利です 💡

見られたくない映像が投映されているときに、急に他の人が入ってきたときなどに便利です。

ランプモードを切り換える (LAMP)

リモコンの LAMP (LAMP MODE) ボタンを押すと記憶しているランプモードが画面に表示され、ランプモードを変えることができます。(49 ページ参照)

LAMP (LAMP MODE) ボタンを押すたびに  →  →  の順に表示が切り換わります。

※ セッティングメニューで「オンスクリーン表示 オフ」に設定しているときは表示されません。

※ LAMP (LAMP MODE) ボタンは操作パネルにはありません。



明るい表示・・・ブライツモード



明るい表示に「A」・・・リアクティブイメージモード



上部がグレーの表示・・・シアターブラックモード

オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー(画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

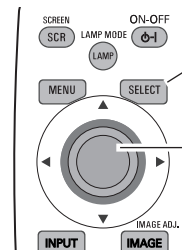
① ポインタの動かしかた

ポインタは、ポイントボタンで上下左右に動かします。ポイントボタンはリモコンと操作パネルにあります。

② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコンを選択するには、SELECT ボタンを押します。SELECT ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

(リモコン)



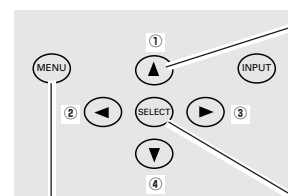
SELECT ボタン

ポインタの指す項目を選択します。

ポイントボタン

ポインタを上下左右に動かします。

(操作パネル)



ポイントボタン

① ② ③ ④
ポインタを上下左右に動かします。

MENU ボタン

オンスクリーンメニューを表示させます。

SELECT ボタン

ポインタの指す項目を選択します。

操作の手順

画面にメニューを表示させる

- 1 リモコンまたは操作パネルの MENU ボタンを押すと、画面上にメニューが表示されます。(右図参照)
メニューには選択できる項目がアイコン（操作をイメージした図）の形で一覧表示されます。

メニューを選択する

- 2 ポイントボタンの上下で選択したいメニューのアイコンに移動させます。
このとき選択されたメニューは他より明るくなります。

メニュー画面で調整や切り換える

- 3 ポイントボタン右でサブメニュー内に入り、調整する項目をポイントボタン上下で選択します。
- 4 ポイントボタンの左右や SELECT ボタンで、調整や切り換えを行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明の項目を参照してください。

メニューに選択・実行するボタンをマークで表示しています。

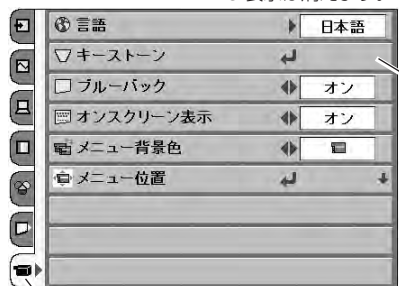
◀ ▶ …… ポイントボタン左右（項目を調整したり選択します）

↩ …… SELECT ボタン（調整や選択した内容を実行します）

↓ ↑ …… ポイントボタン上下

次のページがあることを示しています。ポインタを移動させると自動的に次ページに移ります。

メインメニュー このとき MENU ボタンを押すと、MENU 表示は消えます。



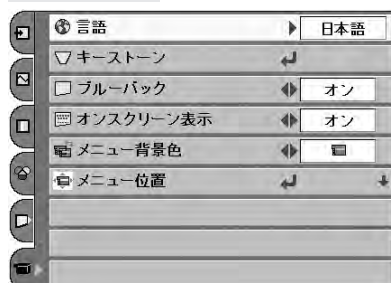
項目

メニューアイコン

ポイント
ボタン右

MENU
ボタン

サブメニュー



※ サブメニューからメインメニューへ戻るときは、MENU ボタンを押します。このとき MENU ボタンを長く押すと、MENU 表示は消えます。

メニュー 一覧

各メニューの中の調整項目。(調整項目はメニューで表示される表示です。)

ビデオ入力モード

	入力選択： インпутット1 (Auto,Video,S-Video,D4-Video) インпутット2 (RGB (アナログ) ,RGB (PC デジタル) ,RGB (AV HDCP) ,Component,RGB(Scart))
	カラー方式、走査方式の選択： Auto,PAL,SECAM,NTSC,NTSC4.43,PAL-M,PAL-N 1080i,1035i,720p,575p,480p,575i,480i
	イメージモード選択： 標準、シネマ、ゲーム、イメージ1,2,3,4
	イメージ調整：コントラスト、明るさ、色の濃さ、色合い、色温度、赤、緑、青、画質、ガンマ補正、 白黒伸張、プログレッシブ、フィルム、リセット、メモリー
	画面サイズの選択：フル、フルスルー、ズーム、字幕イン、ノーマル、ノーマルスルー、 ピットリワイド
	各種の設定：言語、キーストーン、ブルーバック、オンスクリーン表示、メニュー背景色、メニュー位 置、ロゴ、キャプチャー、天吊り、リア投映、パワーマネージメント、電源オフ確認、 ランプモード、リモコンコード、D4識別、ランプカウンターリセット、初期設定

コンピュータ入力モード

	入力選択： インпутット1 (Auto,Video,S-Video,D4-Video) インпутット2 (RGB (アナログ) ,RGB (PC デジタル) ,RGB (AV HDCP) ,Component,RGB(Scart))
	コンピュータシステムモード選択：モード1,2,3,4,5 VGA1-----
	コンピュータシステム調整：自動PC調整、トラッキング、総ドット数、水平位置、垂直位置、 コンピュータ情報、クランプ、画面領域、画面領域 H、画面領域 V、 フルスクリーン、リセット、データ消去、メモリー
	イメージモード選択： 標準、リアル、イメージ1,2,3,4
	イメージ調整：コントラスト、明るさ、色温度、赤、緑、青、画質、ガンマ補正、白黒伸張、 リセット、メモリー
	画像サイズ調整：ノーマル、フル、リアル、デジタルズーム
	各種の設定：言語、キーストーン、ブルーバック、オンスクリーン表示、メニュー背景色、メニュー位 置、ロゴ、キャプチャー、天吊り、リア投映、パワーマネージメント、電源オフ確認、 ランプモード、リモコンコード、D4識別、ランプカウンターリセット、初期設定

ビデオ入力（ビデオを映す）

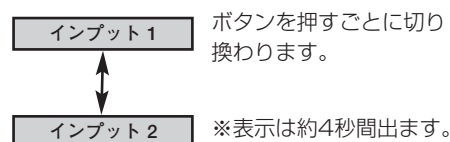
ビデオ入力に切り換える

INPUTボタンで入力を切り換える

リモコンまたは操作パネルの INPUT ボタンを押して、「インプット 1」または「インプット 2」を選択します。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、インプットメニューで正しい入力信号を選んでください。（下記参照）

入力切替 / INPUT ボタン



入力選択メニューで入力を切り換える

- 1 リモコンまたは操作パネルの MENU ボタンを押して、メインメニューを出し、ポイントボタン上下で一番上のインプットメニューのアイコンを選択します。
- 2 ポイントボタン右でサブメニュー内に入り、ポイントボタン上下で「インプット 1」または「インプット 2」に合わせ、ポイントボタン右で選択します。信号選択メニューが現われます。
- 3 ポインタを入力信号の種類に合わせ、SELECT ボタンで選んでください。

※ 複数のビデオ機器を接続しているときに、信号選択メニューで「Auto」に設定しているときは、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入を検知して、
1) D4-Video、2) S-Video、3) Video の接続順位で入力端子を自動選択します。

インプット 1

Auto（自動）

信号を入力している端子をプロジェクターが自動で選択します。

※ 複数のビデオ機器を接続しているときは、
1) D4-Video、2) S-Video、3) Video の優先順位でプロジェクターが入力端子への挿入を検知して接続端子を自動選択します。希望する入力端子が自動選択されないときは、ポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択してください。

※ カラーの映像信号を入力しても色が出ないときは、正しい信号の種類が選択されているか確認してください。

Video

一般のビデオなどからの映像信号（コンポジット映像信号）を入力するときに選択します。

S-Video

S映像信号（セパレートYC信号）を入力するときに選択します。

D4-Video

DVDプレーヤーや HDTV などからのコンポーネント映像信号を入力するときに選択します。

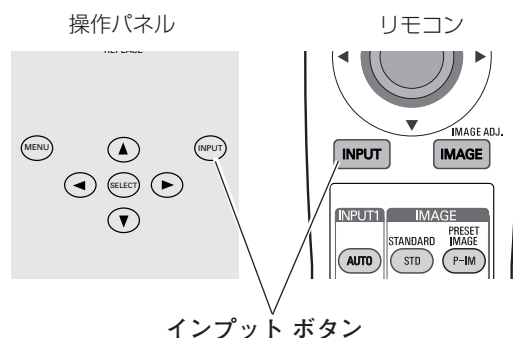
インプット 2

RGB (AV HDCP)

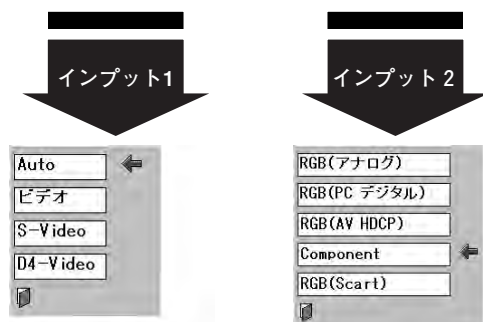
HDCP技術でコピープロテクトされたハイビジョン信号を入力するときに選択します。

COMPONENT

ビデオ機器からのコンポーネント信号をにするとときに選択します。



入力選択メニュー



信号選択メニュー

ポインタを入力信号の種類に合わせ、リモコンまたは操作パネルの SELECT ボタンを押します。

RGB (Scart)

SCART 21ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子のRGB出力をプロジェクターで見るには、ビデオ機器の SCART 21ピン端子とプロジェクターの INPUT 2 を専用のケーブルで接続します。INPUT 2 で再生されるRGB SCART信号は、480i、575i の RGB信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

カラーシステムや走査方式を選択する

- 1 MENU ボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下でシステムメニューのアイコンを選択します。
- 2 ポイントボタン右でサブメニューに入り、ポイントボタンの上下で入力信号に合ったカラーシステムまたは走査方式に合わせ、SELECT ボタンを押してください。

Auto (自動)

入力信号のカラーシステムや走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

Video、S-Video のとき

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムは NTSC です。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

D4-Video、コンポーネント のとき

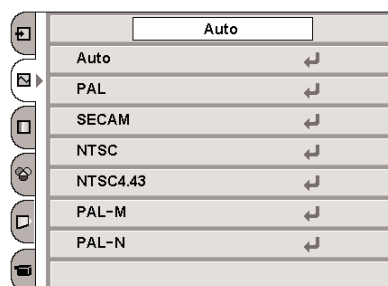
コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、1080i、1035i、720p、575p、480p、575i、480i の中から正しい走査方式を選んでください。

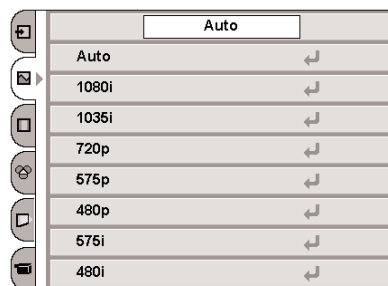
D4識別・オン のとき （50 ページ参照）

プロジェクターが信号を識別し、該当する信号を表示します。

Video、S-Video のとき



D4-Video、コンポーネント のとき



D4識別・オン のとき



イメージの調整

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

リモコンの STD (STANDARD)、IMAGE1~4ボタンで 切り換えます。「標準」(STD ボタン)「シネマ」「ゲーム」(P-M ボタン：押すごとに切り換わります)「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」(1~4 ボタン)

標準 STD (STANDARD)

「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「白黒伸張」「プログレッシブ」「フィルム」が、工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ P-M (PRESET IMAGE)

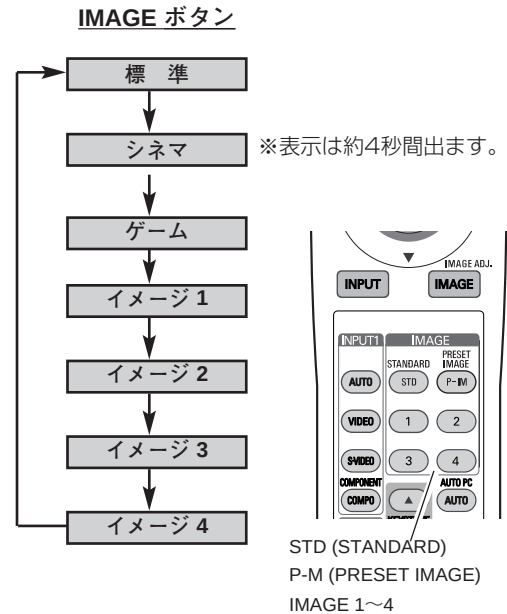
映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

ゲーム P-M (PRESET IMAGE)

ゲーム画面を映すのに適した画質に設定します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(次ページ参照)



イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- MENU ボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下でイメージ選択メニューのアイコンを選択します。
- ポイントボタン右でサブメニュー内に入り、上下ボタンでお好みのイメージモードを選択し、SELECT ボタンで選びます。

標準

「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「白黒伸張」「プログレッシブ」「フィルム」が、工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

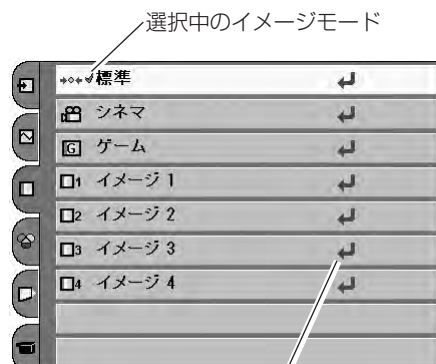
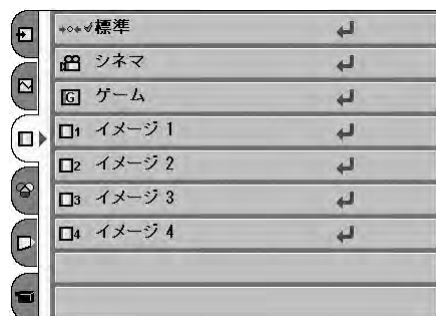
ゲーム

ゲーム画面を映すのに適した画質に設定します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(次ページ参照)

イメージ選択メニュー

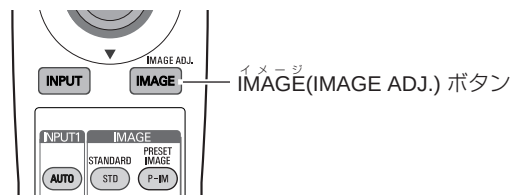


お好みのイメージモードの項目を選択し、SELECT ボタンを押します。

マニュアルでイメージ調整を行なう

リモコンの IMAGE ボタンで操作するとき

リモコン IMAGE (IMAGE ADJ.) ボタンを押します。
「イメージ調整メニュー」表示が現われます。表示が出ている間にポイントボタン左右で調整します。
ポイントボタン下を押すと次の調整メニューが表示され、ポイントボタン上を押すと一つ前の項目に戻ります。



ポイントボタンの左右で値を調整します。

オンスクリーンメニューで操作するとき

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをイメージ調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタをメニュー内に下ろして調整したい項目のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右で行ないます。

イメージ調整メニュー



「メモリー」は次ページにあります。ポインタをあわせ、ポイントボタン下で次ページに移ります。

3 メモリー

ポインタをメモリーアイコンに合わせ、SELECT ボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現われます。登録したいイメージモード（イメージ 1 から 4 までのいずれか）にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押して登録します。

リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。



メモリーアイコン

ポインタを合わせ、ポイントボタン右を押すと、イメージ調整データ登録メニューが現れます。

コントラスト

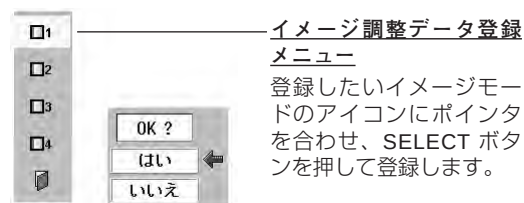
ポイントボタン左でコントラストが薄くなり、ポイントボタン右でコントラストが濃くなります。（-31から +31まで）

明るさ

ポイントボタン左で映像が暗くなり、ポイントボタン右で映像が明るくなります。（-31から +31まで）

色の濃さ

ポイントボタン左で色が薄くなり、ポイントボタン右で色が濃くなります。（-31から +31まで）



イメージ調整データ登録メニュー

登録したいイメージモードのアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押して登録します。

色合い

ポイントボタン左で色が紫がかり、ポイントボタン右で色が緑がかります。（-31から +31まで）

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは調整できません。

色温度

ポイントボタンの左方向で色が赤みがかり、ポイントボタンの右方向で色が青みがかります。（高—中—低1—低2—低3）

※ この設定をするとホワイトバランスの調整値も変化します。

ホワイトバランス（赤/緑/青）

ポイントボタン左で各色調は薄くなり、ポイントボタン右で各色調は濃くなります。（各色 -31から +31まで）

画 質

ポイントボタン左で映像がやわらかくなり、ポイントボタン右で映像がくっきりなります。（-7から +7まで）

ガンマ補正

ポイントボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。（-7から +7まで）

プログレッシブ

オフ・・・動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。

L1・・・プログレッシブ スキャンを ON にします。（動画のとき）

L2・・・プログレッシブ スキャンを ON にします。（静止画のとき）

※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p、の信号を選択しているときは、「プログレッシブ」は選択できません。

フィルム

「3-2 プルダウン」の搭載で、映画を投映するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

※ カラーシステムがNTSC、「プログレッシブ」（上記）が「L1」、「L2」のときだけに選択できます。

オン・・・フィルム機能がはたらきます。

オフ・・・通常の画質で再生します。

コントラスト



ポイントボタンの左右で値を調整します。



ポイントボタンの左右で値を調整します。

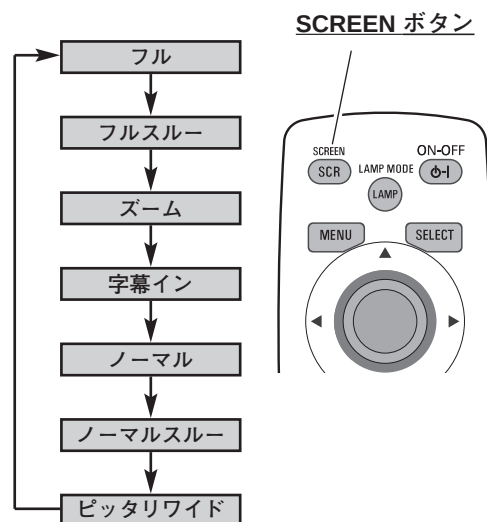
画面の表示モードを選択する

お好みにより、表示モードを7種類の中から選択できます。
リモコンの SCR(SCREEN) ボタンまたは、メニューで選択できます。

リモコンで操作する

SCR(SCREEN) ボタンを押すごとに表示モードが変わります。

※ キーストーン調整で補正しているとき、「ノーマルスルー」「ピッタリワイド」は選択できません。



メニューから選択する

- 1 MENU ボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下でポインタをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン右でサブメニュー内に入り、ポイントボタンの上下で画面サイズを選択し、SELECT ボタンで選択します。

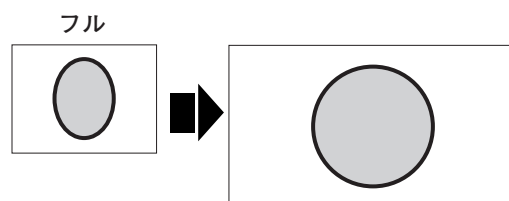
スクリーンメニュー



投射したい画面サイズを選択し、SELECT ボタンを押します。

フル

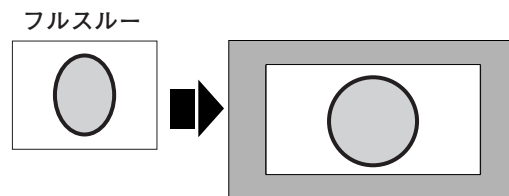
アスペクト比4：3に圧縮された16：9の信号を、均等に左右に拡大し、もとの16：9のワイド画面にもどして投射します。



フルスルー

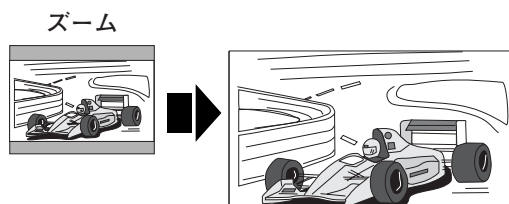
映像の左右方向のみ拡大して、入力映像を16：9のアスペクト比で中央に投射します。

※ 投射画面は小さいですが、高画質のまま映像を楽しむことができます。



ズーム

入力信号が横幅いっぱいになるように均等に拡大します。

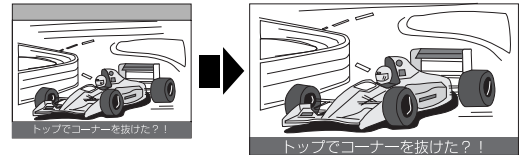




字幕イン

字幕入りの映像を、字幕の部分が欠けないように拡大して投映します。

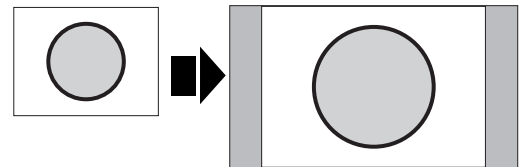
字幕イン



ノーマル

アスペクト比4：3の映像を上下いっぱいそのまま投映します。

ノーマル

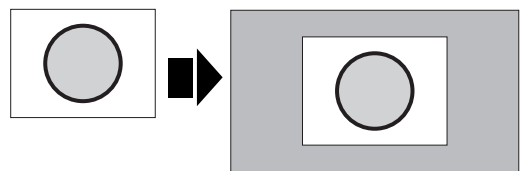


ノーマルスルー

入力映像をそのまま投映します。

※ 投映画面は小さいですが、高画質のまま映像を楽しむことができます。

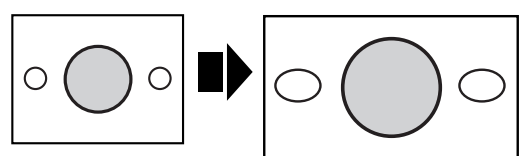
ノーマルスルー



ピッタリワイド

アスペクト比4：3の映像を16:9にして投映します。
中心部はあまり変えずに上下左右を拡大し自然な映像になるように投映します。

ピッタリワイド



🔧 D端子からの各入力信号は識別信号により、以下の画面モードで表示されます。🔧

入力信号	アスペクト比	自動で識別して表示するモード	選択可能なモード
480i	16：9	フル	全モード可
	4：3 レターボックス	ズーム	
	4：3	ノーマル	
480p	16：9	フル	全モード可
	4：3 レターボックス	ズーム	
	4：3	ノーマル	
720p	16：9	フルスルー	フルスルーのみ
1035i	16：9	フル	フルのみ
1080i	16：9	フル	フルのみ

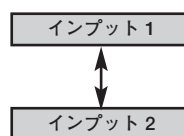
コンピュータ入力 (コンピュータを映す)

コンピュータ入力に切り換える

INPUT ボタンで入力を切り換える

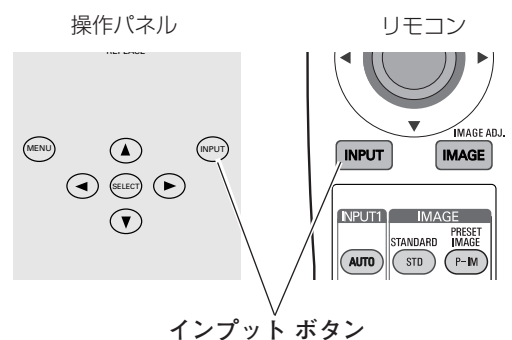
リモコンまたは操作パネルの INPUT ボタンを押して、「インプット 2」に切り換えます。

INPUT ボタン



INPUT ボタンを押すごとに切り換わります。

※表示は約4秒間出ます。



入力選択メニューで入力を切り換える

- 1 MENU ボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン右でサブメニュー内に入り、「インプット 2」を選択し、SELECT ボタンを押します。

入力選択メニュー



インプット 2



信号選択メニュー

ポインタを入力信号の種類に合わせ、リモコンまたは操作パネルの SELECT ボタンを押します。

コンピュータシステムの選択

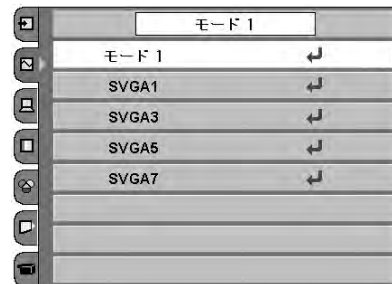
システムモードが自動選択されます

（マルチ スキャン システム）

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード（VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・）を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投映することができます。（次ページ参照）
選択されたシステムモードは、システムメニュー内のサブメニューのシステムボックスに表示されます。

※ システムメニューのサブメニューには、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー



● サブメニューに表示されるメッセージ ●

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動PC調整機能が働き、システムボックスに「**Auto**」の表示が出ます。画像が正しく投映されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。（40～42 ページ参照）

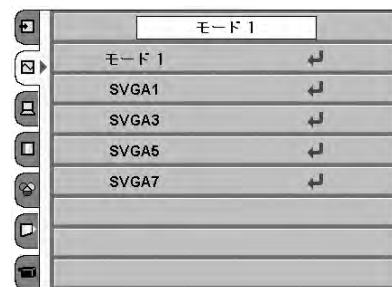
コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。（22 ページ参照）

システムモードをマニュアルで選択するとき

カスタムモード*を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

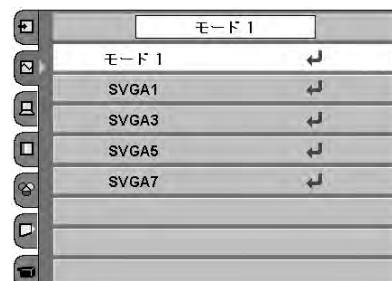
- 1 MENU ボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下でポインタをシステムメニューに合わせ、ポイントボタン右でサブメニュー内に入ります。
- 2 ポイントボタンの上下でいずれかのモードを選択し、SELECT ボタンを押してください。

システムメニュー



※ 選択できるシステムモードの一覧を表示します。

※カスタムモード（モード 1～5 で表示されたもの）
お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。（41、42 ページ参照）



コンピュータシステムの調整

自動PC調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の4項目を自動調整することができます。



自動PC調整

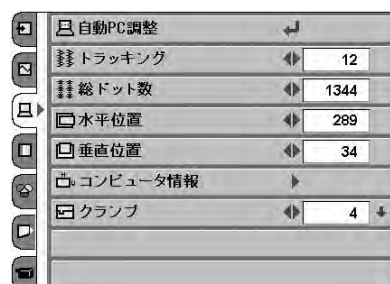
- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの上下で PC調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン右でサブメニュー内に入り、自動PC調整の項目を選択し SELECT ボタンを押すとPC調整画面が出ますので、もう一度 SELECT ボタンを押して自動調整してください。
自動PC調整機能は、リモコンの AUTO (AUTO PC) ボタンを押してもはたらかず。

※自動PC調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。
(次ページ参照)

※自動調整した内容を一度登録しておく、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、41ページのマニュアル PC 調整の手順 3 をごらんください。

※システムメニューで 720p、1035i、1080i、575p、480p、575i、480i のシステムモードが選択されているときは、自動PC調整機能ははたらかず。

PC調整メニュー



ポイントボタンの右方向でサブメニューに入り、PC調整の項目へ移動し、SELECT ボタンを押します。

マニュアルPC調整（カスタムモードを登録する）

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューのシステムボックスに「Auto」と表示され、画像が正しく投映されないときは、PC調整メニューでマニュアル調整し、カスタムモードを登録してください。登録したカスタムモードは、システムメニューで選択できます。カスタムモードは5つまで登録することができます。

1 MENU ボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下でPC調整メニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン右でサブメニュー内に入り、調整したい項目を選択します。
調整は画面を見ながらポイントボタンの左右で行ないます。
左右ボタンで選択項目のみが表示されます。

3  **リセット**

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

 **データ消去**

ポイントボタンの上下で選択し、ポイントボタン右を押すと、PC調整データ消去メニューが現われます。
消去したいモードをポイントボタンの上下で選択し、SELECT ボタンを押します。

 **メモリー**

ポイントボタンの上下で選択し、ポイントボタン右を押すと、PC調整データ登録メニューが現われます。
登録したいモード（モード1から5までのいずれか）をポイントボタンの上下で選択し、SELECT ボタンを押して登録します。

PC調整メニュー



カスタムモードの登録状況（データあり/データなし）を表示します。



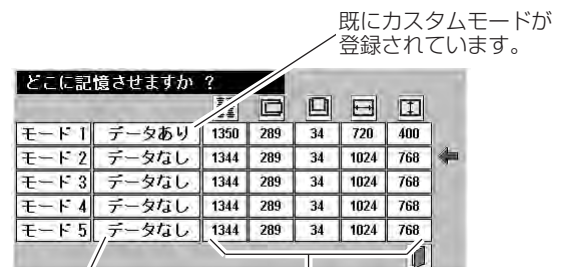
調整項目をポイントボタンの上下で選択します。
ポイントボタンの左右で選択項目のみが表示されます。

PC調整データ消去メニュー



メニューを終了します。

PC調整データ登録メニュー



既にカスタムモードが登録されています。

何も登録されていません。

総ドット数、水平位置、垂直位置、画面領域 H、画面領域 Vを表示します。



トラッキング

トラッキング（同期）がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。（0から31まで）

※コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。



総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。



水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。



垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。



コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。



クランプ

クランプ位置を調整します。

投射している映像に暗い線が出ているときに使います。



画面領域

あらかじめ近い解像度に調整するときに使います。



画面領域 H

水平解像度を調整します。ポイントボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

※ 画面領域 H は、ポイントボタンで調整後 SELECT ボタンを押して調整値を決定する必要があります。



画面領域 V

垂直解像度を調整します。ポイントボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※ 画面領域 V は、ポイントボタンで調整後 SELECT ボタンを押して調整値を決定する必要があります。



フルスクリーン

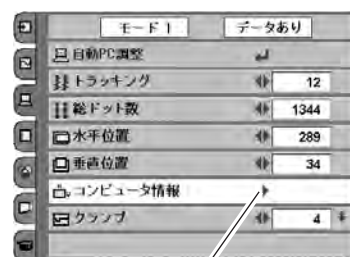
☐ オン・・・アスペクト比横4：縦3 のフルスクリーンサイズで投射します。

☐ オフ・・・オリジナルの画像の縦横比で投射します。

※システムメニューで 720p、1035i、1080i、575p、480p、575i、480i のシステムモードが選択されているときは、「画面領域」、「画面領域 H」、「画面領域 V」と「フルスクリーン」の調整はできません。

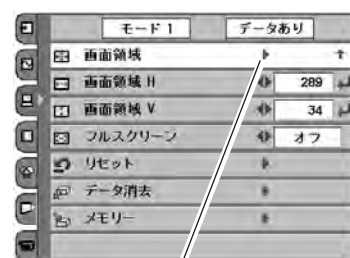


ポイントボタンの左右で値を調整し、SELECT ボタンを押します。



調整項目をポイントボタンの上下で選択し、ポイントボタン右を押します。現在接続中のコンピュータの信号を表示します。

水平周波数	31.5
垂直周波数	60.0



調整項目をポイントボタンの上下で選択し、ポイントボタン右を押します。解像度選択メニューが現われます。

640x480
720x400
800x600
1024x768
1152x864
1280x720
1280x1024

イメージの調整

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

リモコンの STD (STANDARD)、IMAGE1~4ボタンで 切り換えます。「標準」(STD ボタン)「リアル」(P-M ボタン)「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」(1~4 ボタン)

標準 STD (STANDARD)

「コントラスト」「明るさ」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「白黒伸張」が、工場出荷時設定の標準値になります。

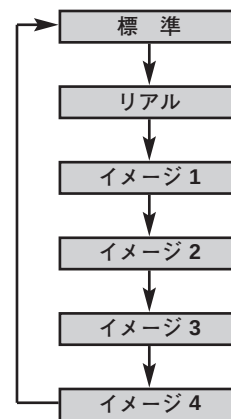
リアル P-M (PRESET IMAGE)

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

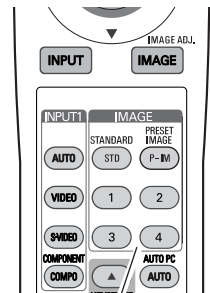
イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(下記参照)

IMAGE ボタン



※表示は約4秒間出ます。



STD (STANDARD)
P-M (PRESET IMAGE)
IMAGE 1~4

イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- 1 MENU ボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下でイメージ選択メニューのアイコンを選択します。
- 2 ポイントボタン右でサブメニュー内に下入り、お好みのイメージモードをポイントボタンの上下で選択し、SELECT ボタンで選びます。

標準

「コントラスト」「明るさ」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「白黒伸張」が、工場出荷時設定の標準値になります。

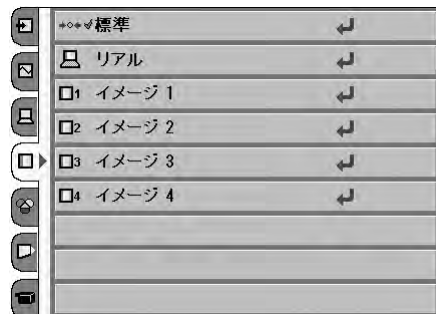
リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

1 イメージ 1~4

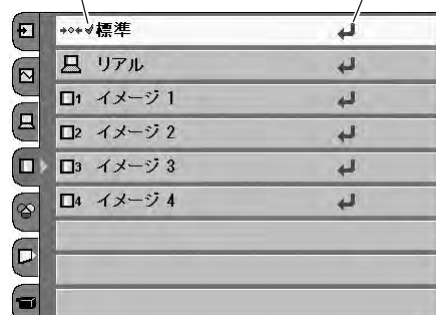
イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(44 ページ参照)

イメージ選択メニュー



選択中の
イメージモード

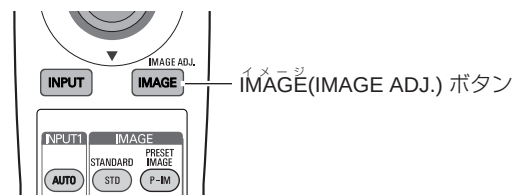
お好みのイメージモードをポイントボタンの上下で選択し、SELECT ボタンで選びます。



マニュアルでイメージ調整を行なう

リモコンの IMAGE ボタンで操作するとき

リモコン IMAGE (IMAGE ADJ.) ボタンを押します。
「イメージ調整メニュー」表示が現れます。表示が出ている間にポイントボタン左右で調整します。
ポイントボタン下を押すと次の調整メニューが表示され、ポイントボタン上を押すと一つ前の項目に戻ります。



ポイントボタンの左右で値を調整します。

オンスクリーンメニューで操作するとき

- 1 リモコンの MENU または操作パネルのメニューボタンを押してメインメニューを出しイメージ調整メニューのアイコンを選択します。
- 2 ポイントボタンの右方向でサブメニュー内に入り、上下ボタンで調整したい項目を選択します。
調整は画面を見ながらポイントボタンの左右方向で行ないます。左右ボタンで選択項目のみが表示されます。
- 3 リセット
調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。



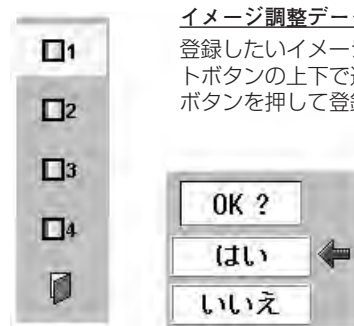
メモリー

調整した画質を保存（イメージ 1～4）できます。
ポイントボタンの上下で選択し、ポイントボタン右を押すと、イメージ調整データ登録メニューが現れます。登録したいイメージモード（イメージ1から4までのいずれか）をポイントボタンの上下で選択し、SELECT ボタンを押して登録します。

イメージ調整メニュー



イメージ調整データ登録メニュー
登録したいイメージモードをポイントボタンの上下で選択し、SELECT ボタンを押して登録します。



コントラスト

ポイントボタンの左方向でコントラストが薄くなり、ポイントボタンの右方向でコントラストが濃くなります。
(-31から +31まで)

明るさ

ポイントボタンの左方向で映像が暗くなり、ポイントボタンの右方向で映像が明るくなります。(-31から +31まで)

色温度

ポイントボタンの左方向で色が赤みがかかり、ポイントボタンの右方向で色が青みがかかります。(高—中—低1—低2—低3)

※ この設定をするとホワイトバランスの調整値も変化します。

ホワイトバランス（赤/緑/青）

ポイントボタンの左方向で各色調は薄くなり、ポイントボタンの右方向で各色調は濃くなります。(各色 -31から +31まで)

画 質

ポイントボタンの左方向で映像がやわらかくなり、ポイントボタンの右方向で映像がくっきりとなります。(-7から +7まで)

ガンマ補正

ポイントボタンの左右方向で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(-7から +7まで)

白黒伸張

オンにすると映像の暗い部分や明るい部分のコントラストが強調され、見やすい画面となります。



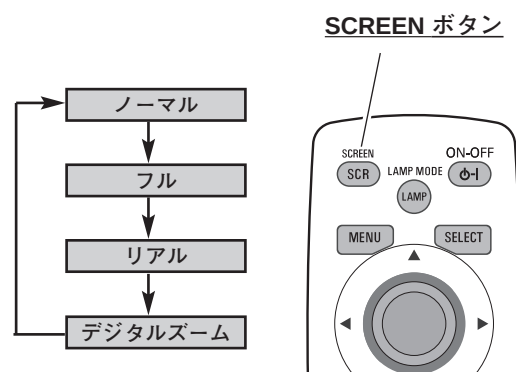
ポイントボタンの左右で値を調整します。
左右ボタンで選択項目のみ表示されます。



適切な画像サイズに調整する

本機の液晶パネルは1280 x 720ドットです。お好みにより、画像サイズや水平スケールを変えることができます。操作はリモコンの SCREEN ボタンまたは、メニューでできます。（リモコンはボタンを押すごとに画面サイズが変わります。）

- 1 MENU ボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下でPC調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン右でサブメニュー内に入り、ポイントボタンの上下で選択したい機能の項目を選択し、SELECT ボタンを押します。



■ ノーマル

画像を有効な投映画面（1280 x 720ドット）に合わせて投映します。

■ フル

画像を有効投映画面（1280 x 720ドット）の幅に合わせ、アスペクト比横16：縦9のワイド画面で投映します。

■ リアル

画像をオリジナルサイズで投映します。画像サイズが有効投映画面（1280 x 720ドット）よりも大きいときは、自動的に「デジタルズーム」モードに入ります。

■ デジタルズーム

「デジタルズーム」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.ZOOM」表示が現われます。
SELECT ボタンを押すごとに画像が拡大します。
ポイントボタンの上下左右で画像を移動させます。
画像の移動機能は、画像サイズが有効投映画面（1280 x 720ドット）よりも大きいときのみはたります。

スクリーンメニュー



表示させたいサイズを選択し、SELECT ボタンを押します。

- ※ 「デジタルズーム」モードから抜けるときは、SELECT、ポイント以外のボタンを押します。
- ※ システムメニューで 720p、1035i、1080i のシステムモードが選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。
- ※ システムメニューで 480i、575i、480p、575p のシステムモードが選択されているときは、「リアル」と「デジタルズーム」は選択できません。
- ※ 本機は SXGA（1280x1024ドット）を超える解像度には対応しておりません。お使いのコンピュータの解像度が SXGA（1280x1024ドット）を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。
- ※ 有効投映画面（1280 x 720ドット）以外の画像データは、初期画面で有効投映画面（1280 x 720ドット）に合うように自動的に画像サイズが変換されます。
- ※ PC調整メニューでマニュアル調整したカスタムモードをコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらないことがあります。

各種セッティング

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポイントをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポイントをメニュー内に下ろして設定する項目のアイコンにポイントを合わせ、SELECT ボタンで選択します。
選んだ項目の設定画面が現われます。



言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の12か国語の中から選べます。



キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。キーストーンを選択すると画面からメニュー表示が消えて「キーストーン」表示が現われ、キーストーン調整モードに入ります。ポイントボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。(27 ページ参照)

- ※「キーストーン」表示が現れているあいだに、KEYSTONE ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
- ※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。



ブルーバック

信号のないときにブルーの画面を出す機能です。この機能を「オン」にすると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずにブルーの画面を映します。



オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

- オン・・・すべての画面表示を出します。
- オフ・・・以下の画面表示以外は出しません。
 - ・メニューバー表示 (30 ページ参照)
 - ・電源を切るときの「もう1度押すと電源が切れます」の表示
 - ・自動PC調整の「しばらくお待ちください」の表示
 - ・パワーマネジメント時のタイマー表示 (49 ページ参照)



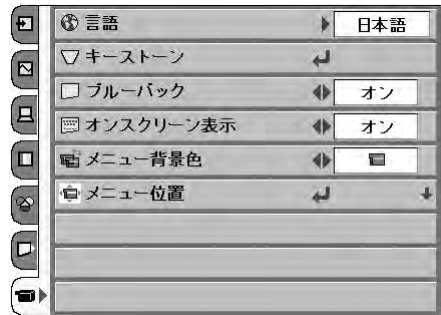
メニュー背景色

メニューの表示を半透明にし、投映している画像を隠さないようにする機能です。

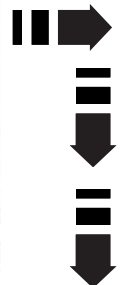
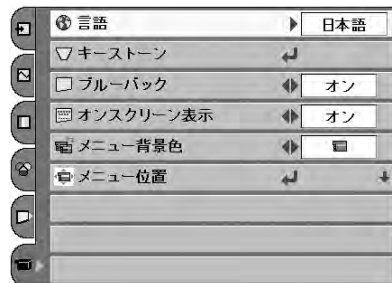
- メニューに背景色がついています。
- メニューが半透明になります。
メニューの文字は白になります。

※ 工場出荷時は背景色がついています。

セッティングメニュー



言語のアイコンを選択すると言語メニューが現われます。



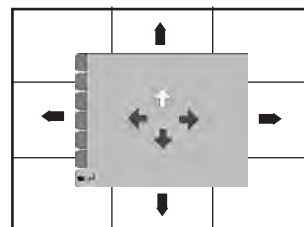


メニュー位置

メニューの表示される位置を調整する機能です。ポイントボタンの上下・左右でお好みの位置に表示させることができます。

表示画面

※表示は約10秒間出ます。



この範囲で動きます



ロゴ

電源を入れたときのロゴ表示を選択することができます。

ユーザー

・・・キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

初期設定

・・・工場出荷時の設定を表示します。

オフ

・・・ロゴ表示を画面に出しません。



キャプチャー

投映している画面を取り込んで、スタートアップロゴにすることができます。

取り込んだ画像をスタートアップロゴにするときは、「ロゴ」機能で「ユーザー」を選択してください。(上記「ロゴ」参照)
リモコンのMY-P(MY PICTURE) ボタンを押すと取り込んだ画面が表示されます。

- 1 ポイントボタン下でポインタを「キャプチャー」のアイコンにポインタを合わせ、SELECT ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

はい

・・・画面の取り込みを始めます。

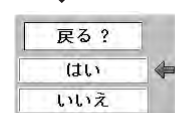
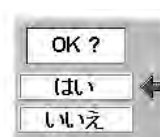
いいえ

・・・キャプチャー機能を取り消します。

- 2 **はい**を選択すると、取り込みを始めます。
このとき、取り込みを中止したいときは、**いいえ**を押します。
取り込みが完了するとメニュー表示は消えます。

- ※ 「ユーザー」へ保存できるのは1画面のみです。
- ※ 適切な画面を取り込むために、イメージモードは標準を選択しておいてください。
- ※ 以下の信号のときに使えます。

ビデオ・・・コンボジット、S-Video、480p、575p、
480i、575i、
コンピュータ・・・1024 x 768 ドット以内



天吊り

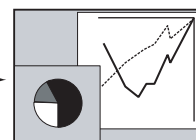
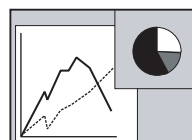
この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

- ※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

天吊り機能

オフ (通常の画像)

オン (天吊り設定時)

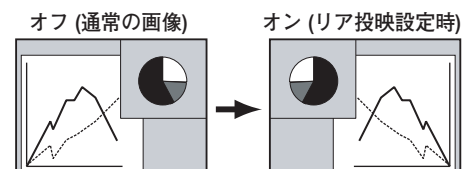




リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。
透過型スクリーンの後ろから投映するときに設定します。

リア投映機能



パワーマネージメント

入力信号がなく、プロジェクターが操作されない状態が 5分30秒続くと、ランプを消灯する機能です。

オン・・・無信号と無操作の状態が 30秒続くと、ランプ画面に「入力信号なし」とタイマーの表示が現われ、この後無信号と無操作が 5分間続くとランプが消灯し、パワーマネージメントモードになります。
(パワーマネージメント機能とそのはたらきについて、詳しくは 25ページをごらんください。)

オフ・・・パワーマネージメント機能を解除します。

※工場出荷時は「オン」に設定されています。



↑
ランプ消灯までの時間



電源オフ確認

この機能を「オフ」にすると、電源を切るときに画面に「もう一度押すと電源が切れます」の表示を出さずに、ON-OFF ボタンを一度押すだけで電源が切れるように設定します。

(25 ページ参照)



ランプモード

ブライモード、リアクティメージモード、シアターブラックモードの選択ができます。



明るい表示・・・ブライモード



明るい表示に「A」・・・リアクティメージモード



上部がグレーの表示・・・シアターブラックモード

※ポイントボタン右で → → の順に表示が切り換わります。

※リアクティメージモード：

入力信号に応じて最適な明るさになるように調光回路が働いて、ランプの明るさを自動的に調整します。

※シアターブラックモード：

映画を最適な画面で視聴するモードで、このモードにすると、画面の明るさを抑え、プロジェクターが静音モードで動作します。また、ランプが低消費電力モードとなります。

※工場出荷時は「リアクティメージモード」に設定されています。

🍷 「絞り」と組み合わせでお楽しみください 🍷

黒が沈んでコントラスト感がある映像が楽しめます。

部屋を暗くして映画を楽しまれるときに、「絞り」(26 ページ参照)とともに「ランプモード」を組み合わせでお楽しみください。



リモコンコード

本機は2種類の異なるリモコンコードで操作させることができます。工場出荷時は「コード 1」に設定されており、2台目のプロジェクター用（拡張用）として「コード 2」に設定することができます。本機を2台で使用する場合、リモコンコードを別々に設定しておく、誤動作防止になります。

コード 1 1台目のプロジェクター用に使用します。

コード 2 2台目のプロジェクター用（拡張用）に使用します。

※ 本機（プロジェクター）を「コード 2」に設定した場合、リモコン本体のコードも「コード 2」に切り換える必要があります。リモコンの MENU と IMAGE ボタンの両方を10秒以上押すと、リモコン本体のコードが「コード 2」に切り換わります。リモコン本体のコードを切り換えた後は、リモコンが正しく動作するか確認してください。リモコン本体のコードを「コード 1」に戻すときは、前述と同じ手順を行います。またはリモコンの電池交換を行なうと、リモコン本体のコードが「コード 1」に戻ります。



D4識別

D4端子に接続された信号を識別し、画面モードを制御する機能です。

オン D端子に入力されている信号の種類を識別します。

オフ 信号の識別はしません。

✎ D端子からの各入力信号は識別信号により、以下の画面モードで表示されます。✎

入力信号	アスペクト比	自動で識別して表示するモード	選択可能なモード
480i	16 : 9	フル	全モード可
	4 : 3 レターボックス	ズーム	
	4 : 3	ノーマル	
480p	16 : 9	フル	全モード可
	4 : 3 レターボックス	ズーム	
	4 : 3	ノーマル	
720p	16 : 9	フルスルー	フルスルーのみ
1035i	16 : 9	フル	フルのみ
1080i	16 : 9	フル	フルのみ

✎ D4識別「オン」はご使用のケーブルがD端子/D端子のときに使います。✎

D4識別「オン」は接続ケーブルにD端子/D端子を使い、ビデオ機器側から出力される識別信号に応じてプロジェクターを制御するときに使用する設定です。

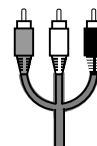
接続ケーブルに、RCA/D端子をご使用のときは、識別動作は行なわれません。設定を「オフ」にしてください。

※ 接続については21ページをご参照ください。

D端子



RCA





ランプカウンターリセット

ランプカウンターをリセットするメニューです。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACE インジケータ (黄) の点灯が消えます。

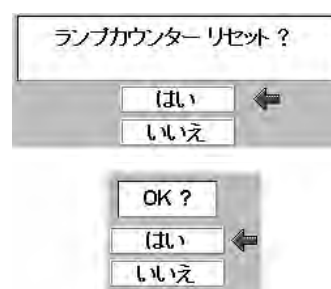
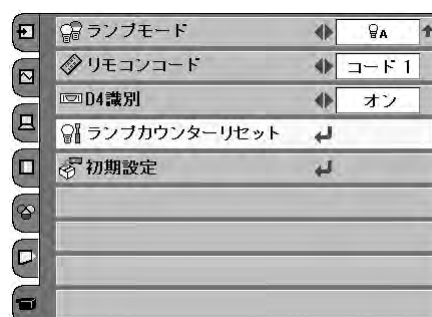


注意

光源ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの上下でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。ポイントボタン右でサブメニューに入ります。
- 2 ポイントボタン下で「ランプカウンターリセット」の項目を選択し、SELECT ボタンを押します。
- 3 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、ポイントボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

ランプカウンターリセット



初期設定

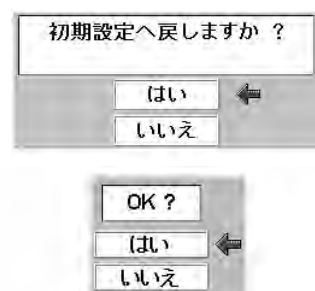
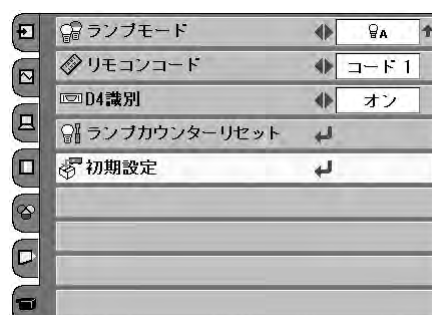
ランプカウンター（点灯時間）以外の設定を、工場出荷状態に戻します。

※ この設定は電源・主電源を切っても有効です。

ご注意

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの上下でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。ポイントボタン右でサブメニューに入ります。
- 2 ポイントボタン下で「初期設定」の項目を選択し、SELECT ボタンを押します。
- 3 「初期設定へ戻しますか？」が現われますので、ポイントボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、SELECT ボタンを押します。設定が工場出荷時に戻ります。



光源ランプの交換

LAMP REPLACEインジケータの点灯

LAMP REPLACE インジケータ (黄) の点灯は、ランプ交換時期の目安です。LAMP REPLACE インジケータ (黄) が点灯した場合は、ランプをすみやかに交換してください。LAMP REPLACE インジケータは、ランプカウンターをリセットするまで電源「ON」(入) のときに点灯します。なお、LAMP REPLACE インジケータが点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。

光源ランプの交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごと行ないます。必ず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

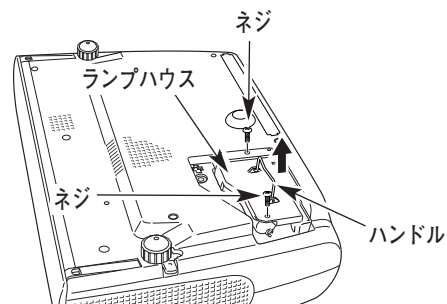
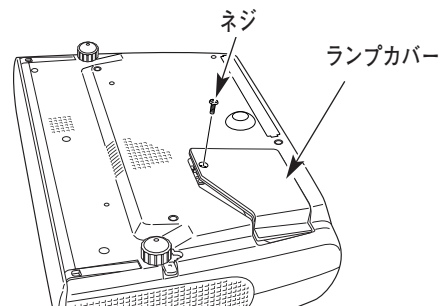
- ・交換ランプの品番：POA-LMP69 (サービス部品コード：610 309 7589)
- ・プロジェクターの品番：LP-Z2



注意

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

- 1 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず45分以上放置してください。
- 2 (+)ドライバーで1本ネジをゆるめてランプカバーをはずします。
- 3 ランプハウスの2本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
- 4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2本のネジを締めて固定します。
- 5 ランプカバーを取り付け、ネジを締めて固定します。



ガラス面を手で触って汚さないでください。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACE インジケータ (黄) の点灯が消えます。

「ランプカウンターのリセット」のしかたは、50ページのランプカウンターリセットの設定を参照ください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、スライドモーションドアを閉めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

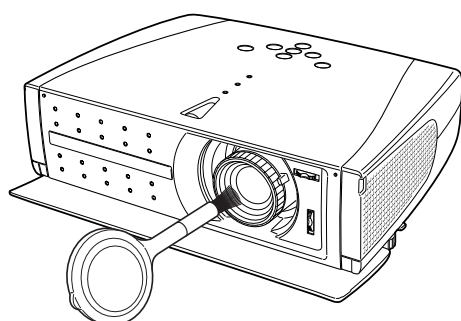
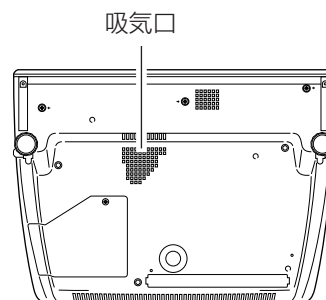
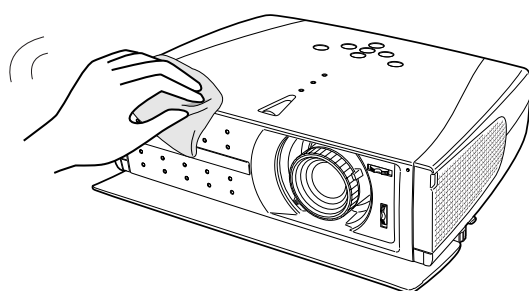
レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

● エアフィルターのお手入れ ●

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。（掃除のしかたは、次ページを参照）

● 吸気口のお手入れ ●

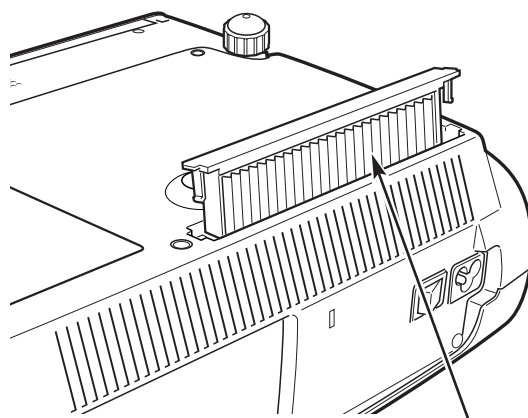
吸気口周辺は、掃除機などでホコリを取り除いてください。



エアフィルターはこまめに掃除してください

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障の原因になります。エアフィルターは、こまめに掃除してください。

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行なってください。
- 2 プロジェクターを裏返します。エアフィルターの両端のツメを上に取り上げて、エアフィルターをはずします。
- 3 エアフィルターのホコリを掃除機などで取ります。
※ 水洗いはできません。
※ 破れないようご注意ください。
- 4 エアフィルターを取り付けます。



エアフィルター
両端のツメを上に取り上げて取りはずします。

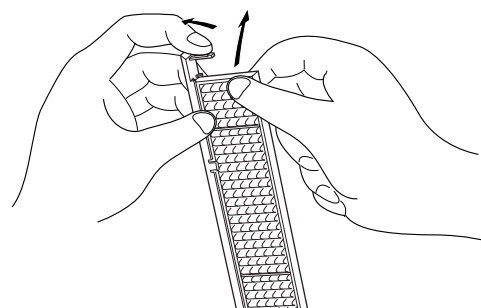
エアフィルターの汚れがひどいときは、付属のエアフィルターと交換してください。それ以降の取り替え用エアフィルター（別売）は、お買い上げの販売店にご相談ください。

取り替え用エアフィルターの品番：610-312-0249

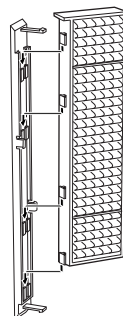
プロジェクターの品番：LP-Z2

エアフィルターの交換

- 1 ツメの部分に手をかけ、少し外側にそらせて、フィルター部分を引き上げます。
※ このとき、強くそらせると変形するおそれがありますので、ていねいに扱ってください。



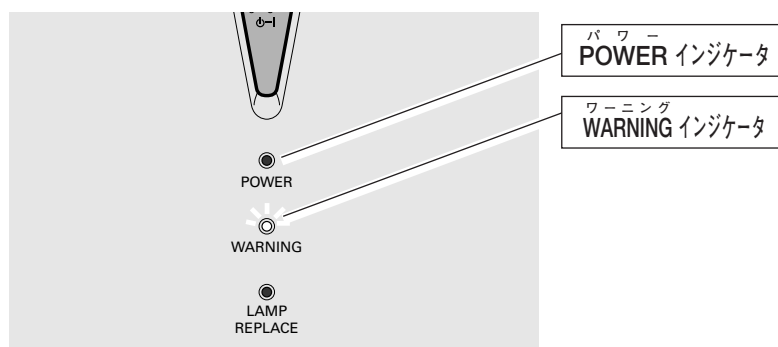
- 2 新しいフィルターを差し込みます。



●お掃除の際にご注意ください●

- ・エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- ・エアフィルターを取りはずした状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- ・エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

内部の温度上昇について



WARNING インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると WARNING インジケータが赤く点滅し、保護のために自動的に電源が切れ、POWER インジケータが赤く点滅します。(WARNING インジケータも点滅を続けます。) 温度が下がると POWER インジケータが赤く点灯し、リモコンおよび本体の ON-OFF ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると WARNING インジケータの点滅が消えます。WARNING インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

- ・ 底面のエアフィルターにホコリがたまっていますか。エアフィルターを掃除してください。
- ・ 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- ・ 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5℃～35℃)
- ・ 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

電源を入れるときは、POWER インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び WARNING インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクターの電源が切れ、WARNING インジケータが点滅し POWER インジケータが赤く点灯しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、WARNING インジケータが赤く点滅し、POWER インジケータが赤く点灯を始めます。このとき、リモコンおよび本体の ON-OFF ボタンでの電源入り切りはできなくなります。

このような時は、主電源スイッチを切り、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れ直しプロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ、WARNING インジケータが点滅し、POWER インジケータが赤く点滅をする場合、プロジェクターの点検を取扱販売店、またはサービス会社にご依頼ください。電源コンセントを接続し、主電源スイッチを入れたまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは、下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

インジケータの名称と点灯状態			プロジェクターの状態
POWER 緑/赤	WARNING 赤	LAMP REPLACE 黄	
			主電源スイッチが切れているか、電源コードがコンセントから抜けています。
		※	プロジェクターはスタンバイ状態です。ON-OFF ボタンを押すと動作します。 ※ スライドモーションドアが閉じていると動作しません。
		※	プロジェクターは正常に動作しています。
		※	プロジェクターの内部温度が高くなっています。ON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、POWER インジケータが点灯（下記枠内の状態）に変わります。
		※	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。（WARNING インジケータは点滅したままです） ON-OFF ボタンを押すと、WARNING インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。
		※	電源コードをコンセントへ入れ主電源スイッチを入れて、スタンバイ状態になるまで、または、ランプの冷却中です。インジケータが赤の点灯に変わるまで、ON-OFF ボタンを押しても始動することはできません。
		※	プロジェクターの内部に異常が検出されました。ON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。一度主電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をサービス会社へご依頼ください。点灯したままですら放置しないでください。火災や感電の原因となります。
		※	パワーマネジメントモードになっています。プロジェクターを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。

○ …点灯：緑  …点滅：緑  …点灯：赤  …点滅：赤 ● …消灯

※ … LAMP REPLACE インジケータが点灯するとランプの寿命です。（正常時は消灯）すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。（51、52ページ参照）

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、つぎのことをお確かめください。

こんなときは	ここを確認してください	参照 ページ
電源が入らない	● 電源コードは接続されていますか。 ● 主電源スイッチはONになっていますか。 ● 電源は入っていますか。POWER ボタンを押してみてください。 ● POWER インジケータが消えているとき、または赤く点滅しているときは、POWER ボタンを押しても電源が入りません。 ● WARNING インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、POWER ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が下がるまでお待ちください。 ● スライドモーションドアは開いていますか。	24 24、25 55 24
画像が映らない	● ビデオ機器やコンピュータは正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 電源を入れたあと約30秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。 ● ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が、コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、合っていますか。 ● 使用温度範囲（5℃～35℃）からはずれていませんか。 ● NO SHOW モードになっていませんか。NO SHOW ボタンを押してみてください。 ● コンピュータをモニター出力に切り換えていますか。出力の切換はコンピュータの取扱説明書を確認してください。	14、21、22 24 32、39
画像が不鮮明	● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。 ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。 ● スクリーンに対して過度に斜めに投映しているときは、画面に台形ひずみ（あおり）ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。 ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。	26 18 20、27
映像が左右（上下）逆さまに映っている	● 「リア投映」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	48、49
オンスクリーンメニューが出ない	● 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	47
リモコンで操作できない	● 電池は正しく入っていますか。＋を正しく入れてください。 ● 電池がなくなっていないですか。新しい電池と交換してください。 ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。 ● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。	17 17 17 17 50

コンピュータシステムモード一覧

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(カスタムモード 1～5 は含みません)
接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640 x 480	31.47	59.88	XGA 4	1024 x 768	56.476	70.07
VGA 2	720 x 400	31.47	70.09	XGA 5	1024 x 768	60.31	74.92
VGA 3	640 x 400	31.47	70.09	XGA 6	1024 x 768	48.50	60.02
VGA 4	640 x 480	37.86	74.38	XGA 7	1024 x 768	44.00	54.58
VGA 5	640 x 480	37.86	72.81	XGA 8	1024 x 768	63.48	79.35
VGA 6	640 x 480	37.50	75.00	XGA 9	1024 x 768	36.00	87.17 (インターレース)
VGA 7	640 x 480	43.269	85.00	XGA 10	1024 x 768	62.04	77.07
MAC LC13	640 x 480	34.97	66.60	XGA 11	1024 x 768	61.00	75.70
MAC 13	640 x 480	35.00	66.67	XGA 12	1024 x 768	35.522	86.96 (インターレース)
575i	————	15.625	50.00 (インターレース)	XGA 13	1024 x 768	46.90	58.20
480i	————	15.734	60.00 (インターレース)	XGA 14	1024 x 768	47.00	58.30
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.25	XGA 15	1024 x 768	58.03	72.00
SVGA 2	800 x 600	37.88	60.32	MAC 19	1024 x 768	60.24	75.08
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.00	MAC 21	1152 x 870	68.68	75.06
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.06	SXGA 1	1152 x 864	64.20	70.40
SVGA 5	800 x 600	48.08	72.19	SXGA 11	1152 x 900	61.20	65.20
SVGA 6	800 x 600	37.90	61.03	SXGA 13	1280 x 1024	50.00	86.00 (インターレース)
SVGA 7	800 x 600	34.50	55.38	SXGA 14	1280 x 1024	50.00	94.00 (インターレース)
SVGA 8	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 17	1152 x 900	61.85	66.00
SVGA 9	800 x 600	38.60	60.31	SXGA 18	1280 x 1024	46.43	86.70 (インターレース)
SVGA 10	800 x 600	32.70	51.09	480p	————	31.47	59.88
SVGA 11	800 x 600	38.00	60.51	575p	————	31.25	50.00
MAC 16	832 x 624	49.72	74.55	720p	————	45.00	60.00
XGA 1	1024 x 768	48.36	60.00	1035i	————	33.75	60.00 (インターレース)
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997	1080i	————	33.75	60.00 (インターレース)
XGA 3	1024 x 768	60.023	75.03	1080i	————	28.125	50.00 (インターレース)

コンピュータの信号がデジタルの場合

DVI入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
D-VGA	640 x 480	31.47	59.94	D-SXGA 3	1280 x 1024	31.65	29.80
D-480p	————	31.47	59.88	D-720p	————	45.00	60.00
D-575p	————	31.25	50.00	D-1035i	————	33.75	60.00 (インターレース)
D-SVGA	800 x 600	37.879	60.32	D-1080i	————	33.75	50.00 (インターレース)
D-XGA	1024 x 768	43.363	60.00	D-1080i	————	28.125	60.00 (インターレース)
D-SXGA 2	1280 x 1024	60.276	58.069				

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

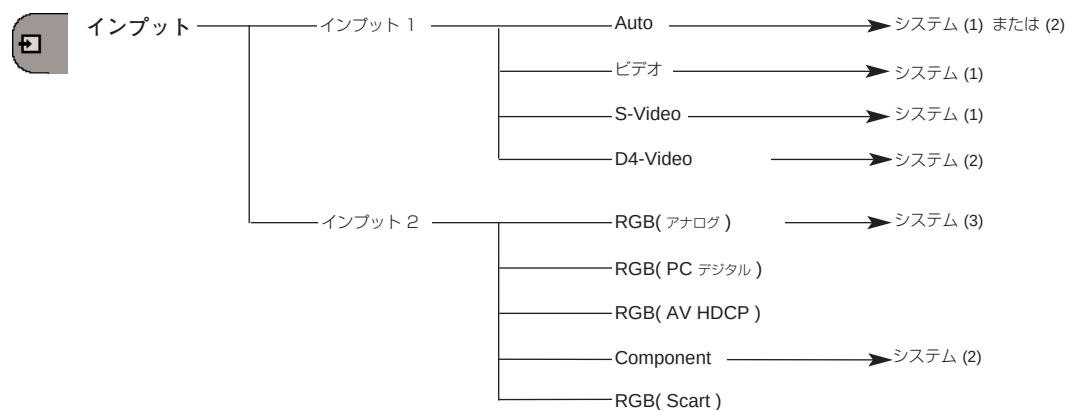
※ XGA、SXGA、Mac19、Mac21、720p、1035i、1080i の信号を投映するときは、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

※ ドットクロックが 100MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。

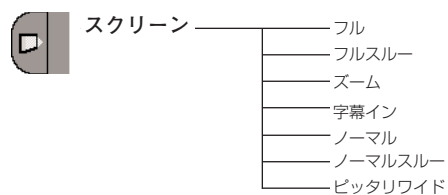
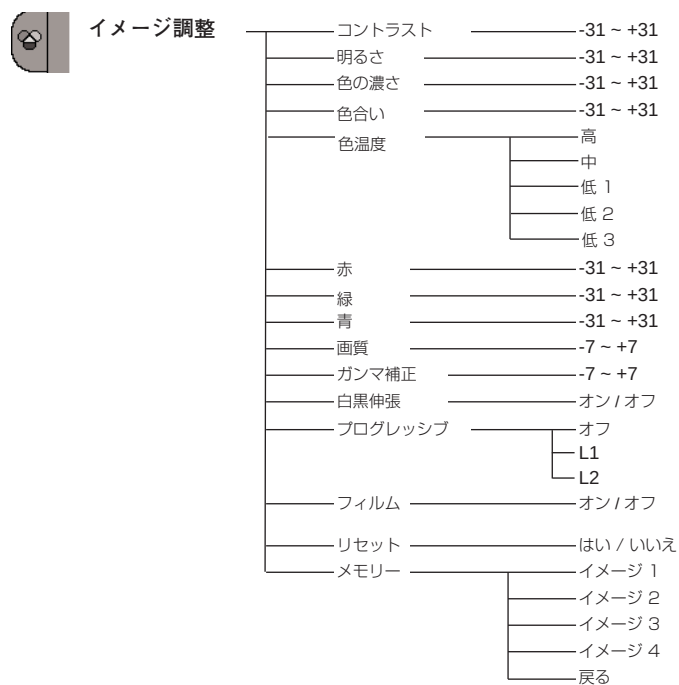
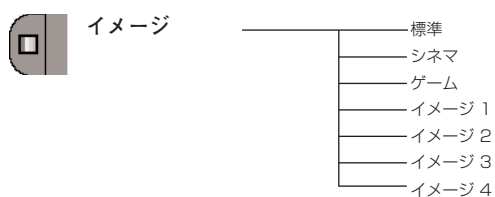
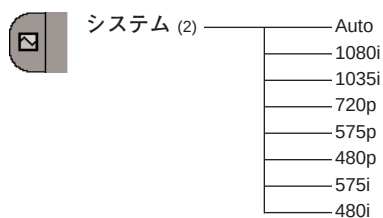
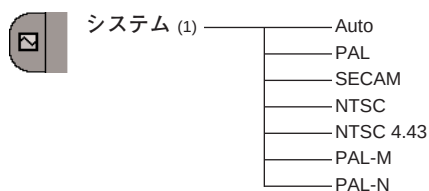
※ ご使用のコンピュータによっては、D-SXGA 2、D-SXGA 3 の画像は正しく映らない場合があります。

メニュー内容一覧

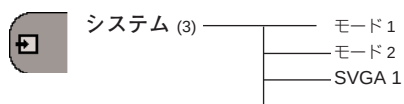
コンピュータ / ビデオ インプット



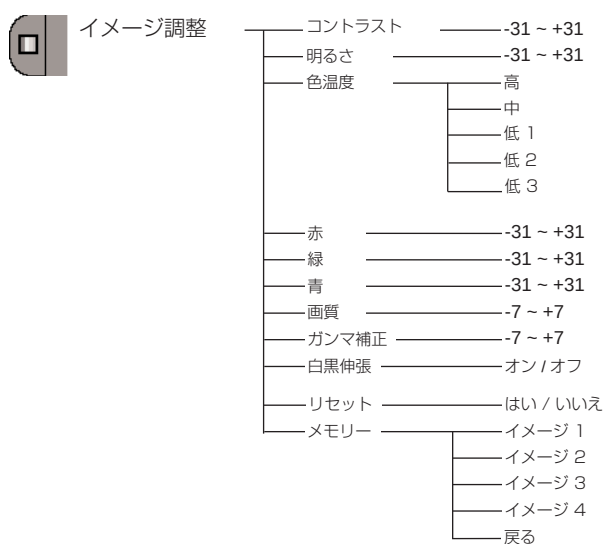
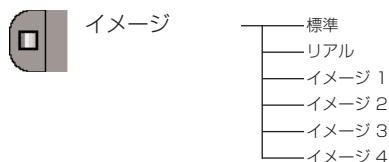
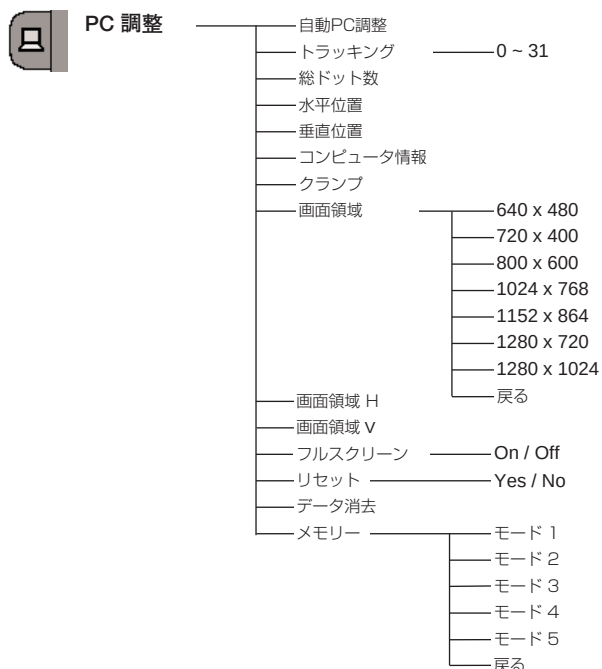
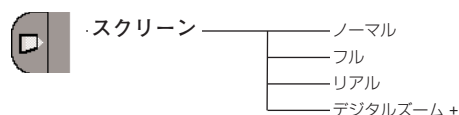
ビデオ入力



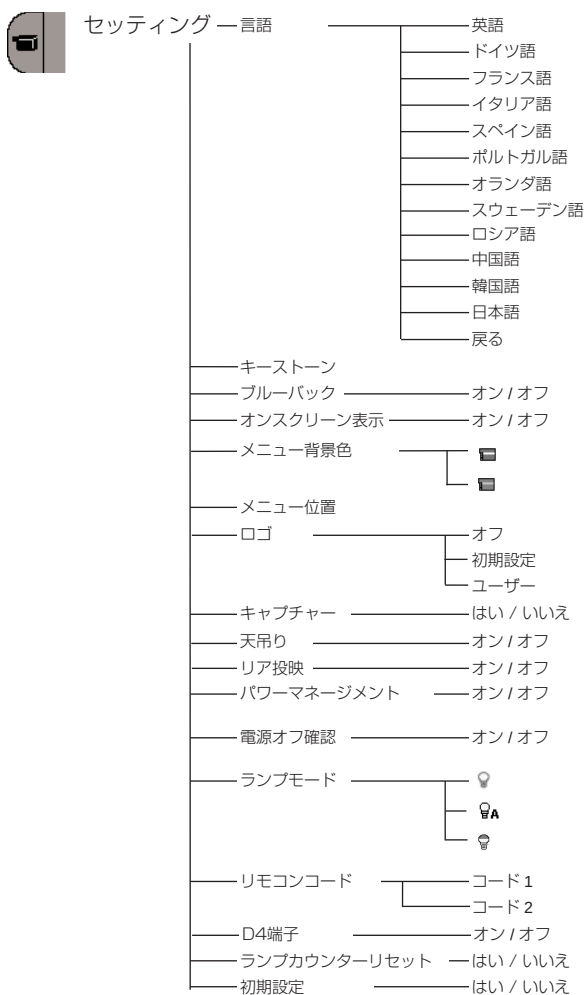
コンピュータ入力



* 表示される内容は入力された信号によって異なります。



セッティング



仕 様

プロジェクター本体

品 番	LP-Z2
種 類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル 3枚 3原色光シャッター方式
液晶パネル	パネルサイズ：0.7型ワイド 表示方式：透過型TN液晶パネル 駆動方式：TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス方式 画素数：2,764,800 画素 {921,600（横 1280 × 縦 720）×3}
投映レンズ	1～1.3倍手動ズームレンズ F= 2.04 ～ 2.54 f= 21.5 ～ 27.7 mm
光源ランプ	高輝度 135W UHPランプ
ズーム/フォーカス調整	手動式
入力 コンピュータ	DVI入力 (1系統)：DVI-I コネクター（29ピン） デジタル：TMDS (Transition Minimized Differential Signaling) アナログRGB信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期：TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス75Ω)
ビ デ オ	ビデオ入力 (2系統) 映像/Y：ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω S映像：セパレートYC信号、ミニDIN 4ピン Y：1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C：0.286Vp-p（バースト信号）、インピーダンス75Ω D4映像：コンポーネント映像、ベローズタイプ14ピン コンポーネント：セパレートY Cb/Pb Cr/Pr信号、DVI-I コネクター（29ピン） Y：1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω Cb/Pb：0.7Vp-p、インピーダンス75Ω Cr/Pr：0.7Vp-p、インピーダンス75Ω
制御入出力、他	サービスポート：ミニDIN 8ピン
走査周波数	水平 15～80KHz、垂直 50～100Hz
カラーシステム	6システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	リアクティブイメージモード時 210W / シアターブラックモード時 180W (待機中消費電力 4.5W)
本体寸法	幅 359×高さ 97×奥行 274 mm (突起部含まず)
質 量	4.1 Kg

※ JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

※ HDCPとは、High-bandwidth Digital Contents Protectionの略称で、DVIを経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護用システムのことです。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本機の DVI-I入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生投写することができます。HDCPの規格変更等が行われた場合、これらHDCP技術でコピープロテクトされたデジタル映像のDVI-I端子での再生はできなくなる場合があります。

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投映中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電源	DC1.5V 単3型アルカリ乾電池 2本使用
到達距離	約5m (受信部正面)
本体寸法	幅47×高さ30×奥行159mm
質量	125g (電池を含む)

付属品

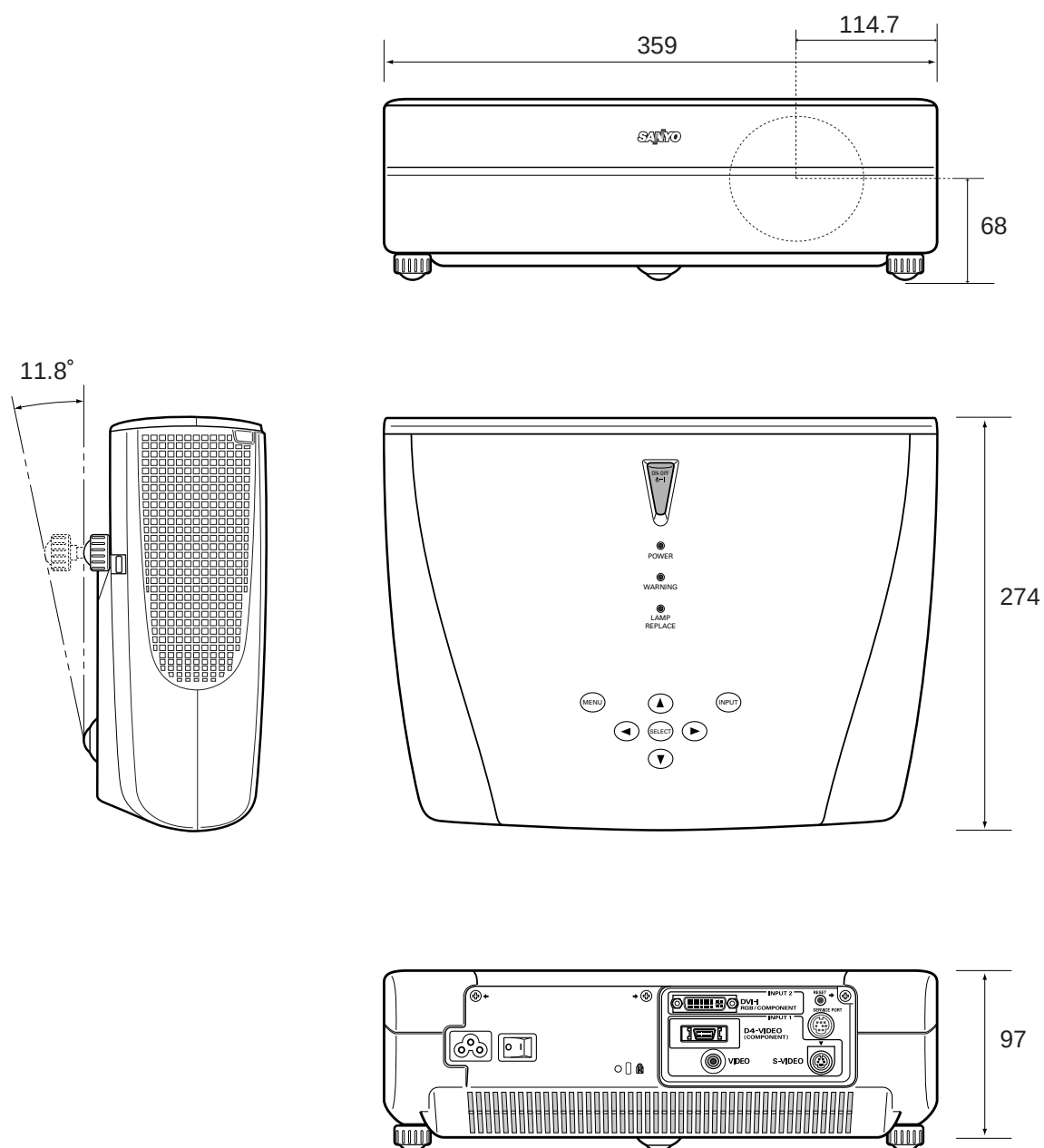
- リモコン 1個
- リモコン用 アルカリ乾電池 2本
- 電源コード 1本
- ビデオケーブル 1本
- 取扱説明書
- 保証書
- ユーザー登録カード (はがき)
- 交換用エアフィルター 1個

別売品

- 低天井用天吊金具 品番：POA-CHS-US01
- 高天井用天吊金具 品番：POA-CHL-UL01
- 天吊金具用ベース金具 品番：POA-CHB-Z2
- 壁面取り付けキット 品番：POA-CH-EX01
- 16:9 タイプ 80 型スクリーン 品番：POA-LCV-80HA
- 16:9 タイプ 100 型スクリーン 品番：POA-LCV-100HA
- D端子 / D端子 ケーブル (10m) 品番：POA-CA-DD10
- D端子 / RCA ケーブル (10m) 品番：POA-CA-DC10
- DVI / コンポーネントケーブル (40cm) 品番：POA-CA-DVIC
- コンポーネントケーブル (10m) 品番：POA-CA-COMP10
- DVI / D-sub ケーブル 品番：POA-CA-DVIVGA
- DVI デジタルケーブル 品番：KA-DV20

※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
 ※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
 ※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

寸法図



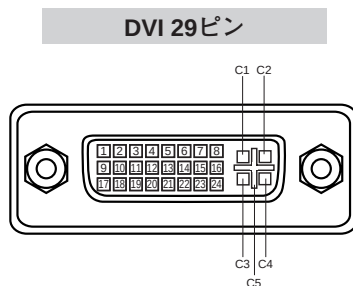
單位：mm

端子の仕様

INPUT 2 / DVI-I RGB / COMPONENT (コンピュータ DVI-I / アナログ 入力 / コンポーネント入力 端子)

DVI規格対応の端子を持つコンピュータからの信号（デジタル / アナログ）を接続する DVI-I端子です。接続には、別売の DVI-I用コンピュータ接続ケーブルを使用します。D-sub出力端子（アナログ）のコンピュータへの接続には、別売の DVI/D-sub用コンピュータ接続ケーブルを使って接続します。

また、コンポーネント入力もこの端子に接続します。接続には、別売のコンポーネント/D-sub用接続ケーブルを使用します。



アナログ コンタクト部

C1	アナログ R ビデオ入力
C2	アナログ G ビデオ入力
C3	アナログ B ビデオ入力
C4	アナログ水平同期
C5	アナログ RGB 接地

デジタル コンタクト部

1	T.M.D.S. データ 2-	9	T.M.D.S. データ 1-	17	T.M.D.S. データ 0-
2	T.M.D.S. データ 2+	10	T.M.D.S. データ 1+	18	T.M.D.S. データ 0+
3	T.M.D.S. データ 2/4 シールド	11	T.M.D.S. データ 1/3 シールド	19	T.M.D.S. データ 0/5 シールド
4	未接続	12	未接続	20	未接続
5	未接続	13	未接続	21	未接続
6	DDC クロック	14	+5V パワー	22	T.M.D.S. クロック シールド
7	DDC データ	15	接地 (+5V)	23	T.M.D.S. クロック+
8	アナログ垂直同期	16	ホットプラグ検知	24	T.M.D.S. クロック-

● 電波障害自主規制について ●

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ...

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の修理相談窓口にお問い合わせください。

家電製品についての全般的なご相談は <総合相談窓口>

受付時間：9：00～17：00まで（1月1日～3日は休ませていただきます）

◆北海道地区	札幌 ☎ (011)290-1522	◆近畿・四国地区	大阪 ☎ (06)6994-9570
◆東北地区	仙台 ☎ (022)714-6137	◆中国地区	広島 ☎ (082)297-6067
◆関東地区	東京 ☎ (03)3815-1111	◆九州・沖縄地区	福岡 ☎ (092)263-7629
◆中部・北陸地区	名古屋 ☎ (052)533-5245		

※郵便・FAXでご相談される場合は

三洋電機（株）お客さまセンター 〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX (06) 6994-9510

☆上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

修理サービスについてのご相談は <修理相談窓口> 三洋コンシューママーケティング（株）

受付時間：月曜日～金曜日 [9：00～18：30]
土曜・日曜・祝日 [9：00～17：30]

出張修理のご依頼 その他の修理相談窓口

東日本コールセンター 東京 ☎ (03)5302-3401
西日本コールセンター 大阪 ☎ (06)4250-8400

関東・首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話をご利用いただけます。

東日本コールセンターへの転送電話番号

◆北海道地区	札幌 ☎ (011)833-7888
◆東北地区	仙台 ☎ (022)382-2213
◆長野地区	長野 ☎ (0263)26-1772
◆新潟地区	新潟 ☎ (025)285-2451
◆福島地区	福島 ☎ (024)945-6811

西日本コールセンターへの転送電話番号

◆北陸地区	金沢 ☎ (076)237-6650
◆中部地区	名古屋 ☎ (052)459-3456
◆中国地区	広島 ☎ (082)293-9333
◆四国地区	高松 ☎ (087)844-8321
◆九州地区	福岡 ☎ (092)922-6111

◆沖縄地区 沖縄 ☎ (098)944-5018

受付時間：月曜日～土曜日（日曜、祝日および当社休日を除く）[9:00～12:00、13:00～17:30]

※「持ち込み修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。

受付時間：月曜日～土曜日（日曜、祝日を除く）9：00～17：30

北海道地区	関東地区	近畿地区
北海道 札幌 ☎ (011) 831-9201 〒003-0013 札幌市白石区中央三条4-1-36 函館 ☎ (0138) 48-8301 〒041-0824 函館市西桔梗町589-295 苫小牧 ☎ (0144) 33-3421 〒053-0042 苫小牧市三光町2-2-5 旭川 ☎ (0166) 22-2421 〒070-0073 旭川市曙北3条7-3-3 北見 ☎ (0157) 23-4871 〒090-0037 北見市山下町4-7-14 釧路 ☎ (0154) 22-1576 〒085-0021 釧路市浪花町7-7	神奈川県 戸塚 ☎ (045) 827-2831 〒224-0806 横浜市戸塚区上品濃9-14 相模原 ☎ (042) 742-2272 〒228-0805 相模原市豊町17-11 平塚 ☎ (0463) 55-3926 〒254-0014 平塚市四之宮5-10-4 千葉県 千葉 ☎ (043) 241-7311 〒260-0025 千葉市中央区問屋町5-20 鎌ヶ谷 ☎ (047) 441-0111 〒273-0105 鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59 山梨県 山梨 ☎ (055) 226-2561 〒400-0035 甲府市飯田4-8-23	阪神 ☎ (06) 6432-3401 〒661-0026 尼崎市水堂町4-17-6 姫路 ☎ (0792) 96-2141 〒670-0981 姫路市西庄字八町108 淡路 ☎ (0799) 22-2702 〒656-0101 洲本市納字横竹308-1
東北地区	中部地区	中国地区
宮城県 仙台 ☎ (022) 384-0444 〒981-1225 名取市飯野坂3-4-8 青森県 青森 ☎ (017) 729-3401 〒030-0141 青森市大字上野字山辺29-5 八戸 ☎ (0178) 28-9225 〒039-1103 八戸市長苗代字観音堂50-5 岩手県 盛岡 ☎ (019) 635-0136 〒020-0863 盛岡市南仙北1-13-6 水沢 ☎ (0197) 23-6621 〒023-0003 水沢市佐倉河字羽黒田45 山形県 山形 ☎ (023) 641-1769 〒990-2432 山形市荒楯町1-21-30 酒田 ☎ (0234) 23-3817 〒998-0842 酒田市亀ヶ崎6-7-16 秋田県 秋田 ☎ (018) 862-6551 〒010-0925 秋田市旭南3-2-67 福島県 郡山 ☎ (024) 945-6793 〒963-0111 郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7	愛知県 名古屋 ☎ (052) 451-3161 〒453-0804 名古屋市中村区黄金通5-10 岡崎 ☎ (0564) 23-3418 〒444-0065 岡崎市柿田町1-2 岐阜県 岐阜 ☎ (058) 246-3417 〒501-6006 岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35 静岡県 静岡 ☎ (054) 261-4151 〒420-0813 静岡市長沼885 沼津 ☎ (055) 963-1000 〒410-0861 沼津市真砂町3-1 浜松 ☎ (053) 461-8685 〒435-0016 浜松市和田町795-2 長野県 松本 ☎ (0263) 26-1107 〒390-0835 松本市高宮東1-35 長野 ☎ (026) 299-9501 〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2 石川県 金沢 ☎ (076) 237-7811 〒920-0062 金沢市割出町627 富山県 富山 ☎ (076) 422-7020 〒939-8211 富山市二口町1-13-8 福井県 福井 ☎ (0776) 22-6082 〒918-8231 福井市問屋町1-17 三重県 三重 ☎ (059) 228-8126 〒514-0838 津市岩田町10-3	広島県 広島 ☎ (082) 293-6511 〒733-0012 広島市西区中広町3-17-5 福山 ☎ (084) 925-3455 〒720-0077 福山市南本庄3-1-48 岡山県 岡山 ☎ (086) 245-1634 〒700-0973 岡山市下中野703-101 津山 ☎ (0868) 22-6133 〒708-0002 津山市上河原239-10 鳥取県 鳥取 ☎ (0857) 24-2930 〒680-0843 鳥取市南古方3-107 島根県 浜田 ☎ (0855) 22-7883 〒697-0023 浜田市長沢町3049 松江 ☎ (0852) 23-1183 〒690-0017 松江市西津田4-1-14 山口県 山口 ☎ (083) 973-3391 〒754-0024 山口県吉敷郡小郡町若草町2-6
関東・甲信越地区	近畿地区	四国地区
埼玉県 さいたま ☎ (048) 664-2319 〒331-0812 さいたま市北区宮原町1-30 坂戸 ☎ (049) 284-8900 〒350-0214 坂戸市千代田5-3-17 栃木県 栃木 ☎ (028) 653-2811 〒321-0106 宇都宮市上横田町1302-12 茨城県 茨城 ☎ (0298) 64-4751 〒300-3261 つくば市花畑2-15-3 水戸 ☎ (029) 251-4125 〒311-4152 水戸市河和田3-2386-1 群馬県 群馬 ☎ (027) 362-1151 〒370-0001 高崎市巾尾町池の内44-1 西関東 ☎ (0276) 22-7702 〒373-0015 太田市東新町72-2 新潟県 新潟 ☎ (025) 285-2431 〒950-0971 新潟市近江244 長岡 ☎ (0258) 24-0705 〒940-0029 長岡市東蔵王2-3-46 上越 ☎ (0255) 43-3535 〒942-0074 上越市石橋2-2-9 東京都 台東 ☎ (03) 3607-3191 〒125-0051 葛飾区新宿4-10-15 城北 ☎ (03) 3958-1261 〒173-0021 板橋区弥生町72-5 城西 ☎ (03) 3376-3361 〒151-0073 渋谷区笹塚3-1-13 武蔵野 ☎ (042) 364-7721 〒183-0045 府中市美好町2-3-1	大阪府 大阪 ☎ (06) 6992-6235 〒570-0086 守口市竹町4-13 大阪南 ☎ (06) 6761-4600 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F 大阪東 ☎ (0729) 65-1811 〒578-0903 東大阪市今米2-3-29 阪和 ☎ (072) 221-8571 〒590-0959 堺市大町西3-1-16 京都府 京都 ☎ (075) 672-0877 〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町4-1 三丹 ☎ (0773) 27-3458 〒620-0856 福知山市土師宮町1-66 奈良県 奈良 ☎ (0744) 22-7888 〒634-0837 橿原市曲川町7-1-31 滋賀県 滋賀 ☎ (077) 545-4221 〒520-2134 大津市瀬田1-1-5 和歌山県 和歌山 ☎ (073) 436-3110 〒641-0006 和歌山市中島369 田辺 ☎ (0739) 22-7520 〒646-0051 田辺市稲成町南江原318 兵庫県 神戸 ☎ (078) 651-3951 〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2-1-11	愛媛県 愛媛 ☎ (089) 971-3342 〒791-8036 松山市高岡町148-1 宇和島 ☎ (0895) 27-1818 〒798-0077 宇和島市保田甲934-3 香川県 香川 ☎ (087) 843-1840 〒761-0104 高松市高松町2175-10 高知県 高知 ☎ (088) 860-0229 〒781-5106 高知市介良乙1044 徳島県 徳島 ☎ (088) 699-4131 〒771-0219 徳島県板野郡松茂町笹木野字八北 開拓150-2
九州地区	近畿地区	沖縄地区
福岡県 福岡 ☎ (092) 928-3414 〒818-8534 筑紫野市紫6-1-1 北九州 ☎ (093) 521-5286 〒802-0023 北九州市小倉北区下富野2-10-28 中九州 ☎ (0942) 21-3534 〒830-0052 久留米市上津町字赤坂1890-2 長崎県 長崎 ☎ (095) 824-5628 〒850-0012 長崎市本河内3-21-43 佐世保 ☎ (0956) 31-7635 〒857-1162 佐世保市卸本町17-1 熊本県 熊本 ☎ (096) 357-1122 〒861-4106 熊本市南高江町3-2-88 八代 ☎ (0965) 35-3483 〒866-0871 八代市田中東町12-7 大分県 大分 ☎ (097) 543-3454 〒870-0822 大分市大道町3-4-32 宮崎県 宮崎 ☎ (0985) 29-3441 〒880-0036 宮崎市花ヶ島町観音免883 鹿児島県 鹿児島 ☎ (099) 251-4615 〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-10	大阪府 大阪 ☎ (06) 6992-6235 〒570-0086 守口市竹町4-13 大阪南 ☎ (06) 6761-4600 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F 大阪東 ☎ (0729) 65-1811 〒578-0903 東大阪市今米2-3-29 阪和 ☎ (072) 221-8571 〒590-0959 堺市大町西3-1-16 京都府 京都 ☎ (075) 672-0877 〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町4-1 三丹 ☎ (0773) 27-3458 〒620-0856 福知山市土師宮町1-66 奈良県 奈良 ☎ (0744) 22-7888 〒634-0837 橿原市曲川町7-1-31 滋賀県 滋賀 ☎ (077) 545-4221 〒520-2134 大津市瀬田1-1-5 和歌山県 和歌山 ☎ (073) 436-3110 〒641-0006 和歌山市中島369 田辺 ☎ (0739) 22-7520 〒646-0051 田辺市稲成町南江原318 兵庫県 神戸 ☎ (078) 651-3951 〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2-1-11	沖縄県 沖縄 ☎ (098) 944-5018 〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株) サービス部

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。(290304B)

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。
(ただし、光源ランプは6ヶ月です)

■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に

57ページの「故障かなと思ったら」にそって故障かどうか確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに ご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検	●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！	熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。
	このような 症状は ありませんか ● 電源スイッチを入れても映像が出ない。 ● 映像が時々消えることがある。 ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源スイッチを切っても、映像が消えない。 ● 内部に水や異物が入った。 ● その他異常や故障がある。	➡ ご使用中止 故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ	
品 番	LP-Z2
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さま ご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

AVソリューションズカンパニー
プロジェクタービジネスユニット 事業推進部
〒574 - 8534 大阪府大東市三洋町1 - 1